

新日本石油株式会社

2008年度 第3四半期決算説明会

取締役 常務執行役員経営管理第1本部長
平井 茂雄

2009年1月30日



新日本石油
Your Choice of Energy

I . 08年度 第3四半期決算概要

<08年度第3四半期（08/4-12月）損益概要>

	07年度第3四半期 (07/4-12月)		→	08年度第3四半期 (08/4-12月)	
					うち08/10-12月
原油価格 (\$/Bbl)	72.1	+27.3		99.4	67.1
為替レート (円/\$)	117.6	▲13.9		103.7	100.5
ジョイント等除き 販売数量 (万KL)	5,137	▲176		4,961	1,696
売上高	(億円) 53,178	(億円) +7,646		(億円) 60,824	(億円) 17,988
営業利益 (在庫影響)	2,235	▲5,801		▲3,566	▲4,431
(在庫影響除き)	(1,460)	(▲5,710)		(▲4,250)	(▲5,041)
	(775)	(▲91)		(684)	(610)
営業外損益	211	▲158		53	336
経常利益 (在庫影響除き)	2,446	▲5,959		▲3,513	▲4,095
	(986)	(▲249)		(737)	(946)
特別損益	16	▲180		▲164	▲20
当期純利益	1,357	▲3,602		▲2,245	▲2,447

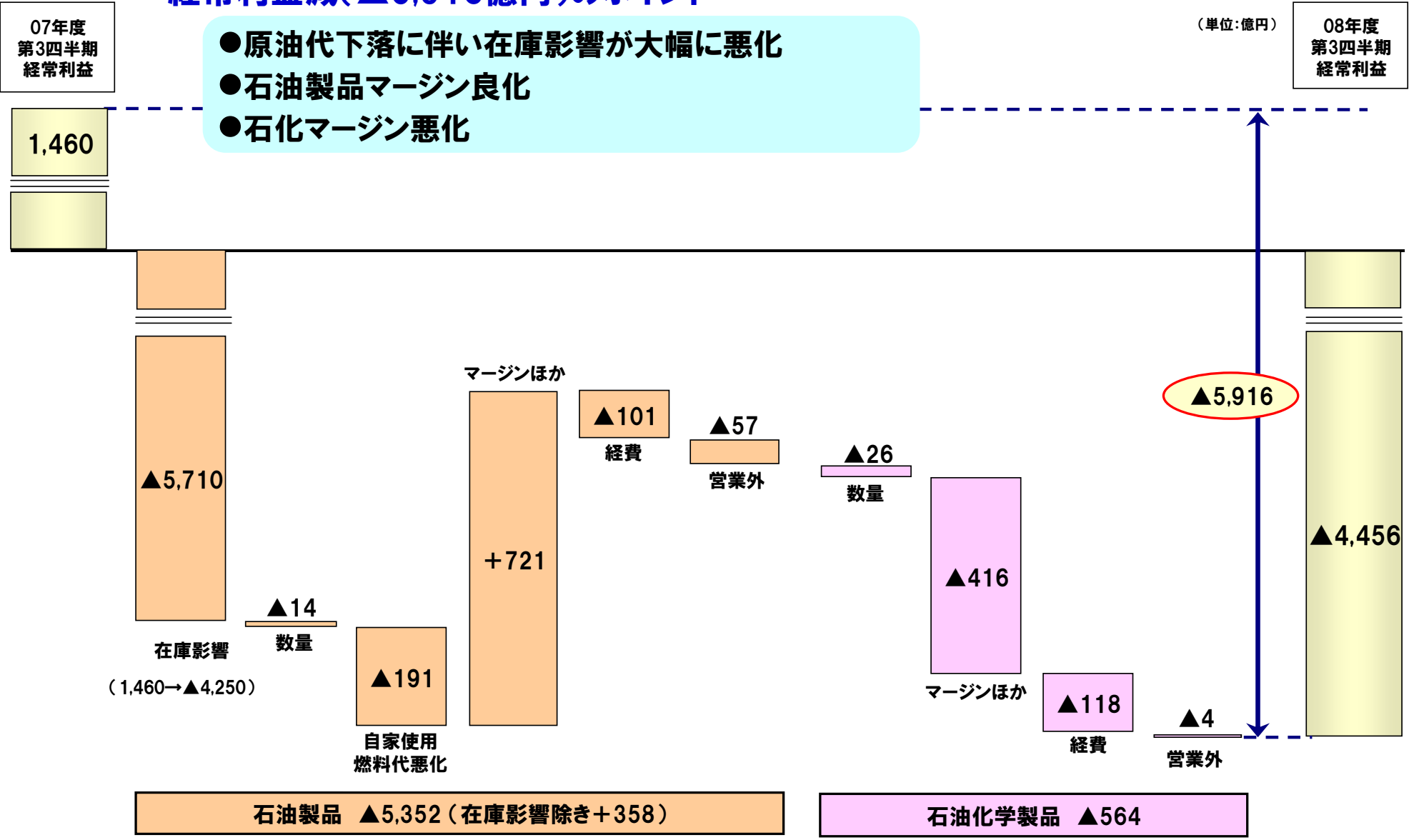
<08年度第3四半期 セグメント別経常利益の増減>

	07年度第3四半期 (07/4-12月)	→	08年度第3四半期 (08/4-12月)	
	(億円)		(億円)	
I. 石油精製・販売	1,460	▲5,916	▲4,456	
うち 石油製品 (在庫影響)	1,200 (1,460)	▲5,352 (▲5,710)	▲4,152 (▲4,250)	在庫影響 ▲2,025 棚卸資産簿価切下げ ▲2,225
(在庫影響除き)	(▲260)	(+358)	(98)	
うち 石油化学製品	260	▲564	▲304	
II. 石油・天然ガス開発	931	▲52	879	
III. 建設・その他	55	+9	64	
経常利益計 (在庫影響除き)	2,446 (986)	▲5,959 (▲249)	▲3,513 (737)	

<08年度第3四半期 石油精製・販売部門 経常利益増減分析(前年同期比)>

-経常利益減(▲5,916億円)のポイント-

- 原油代下落に伴い在庫影響が大幅に悪化
- 石油製品マージン良化
- 石化マージン悪化

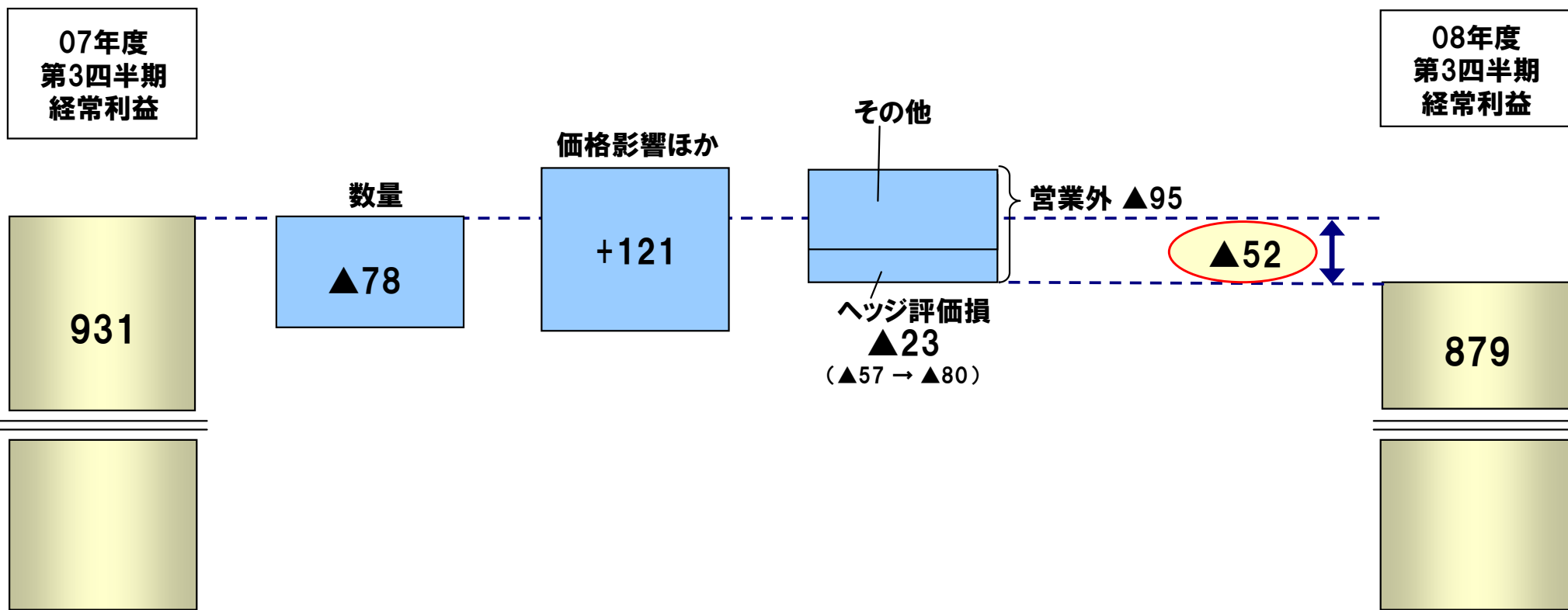


<08年度第3四半期 石油・天然ガス開発部門 経常利益増減分析(前年同期比)>

-経常利益減(▲52億円)のポイント-

- 販売価格の上昇があったものの、数量減や営業外損益の悪化により減益

(単位:億円)



II. 08年度決算見通し概要

<08年度損益見通し概要 (10月公表比)>

	08年度見通し (10月公表)	→	08年度見通し (今回)
原油価格 (\$/Bbl)	97.8	▲14.1	83.7 <small>1月積み以降 ドバイ 45\$/B</small>
為替レート (円/\$)	105.3	▲5.3	100.0 <small>1月積み以降 為替 90円/\$</small>
ジョイント等除き 販売数量 (万KL)	7,166	▲336	6,830
	(億円)	(億円)	(億円)
売上高	88,500	▲12,500	76,000
営業利益 (在庫影響)	▲120 (▲730)	▲2,920 (▲3,370)	▲3,040 (▲4,100)
(在庫影響除き)	(610)	(+450)	(1,060)
営業外損益	170	+170	340
経常利益 (在庫影響除き)	50 (780)	▲2,750 (+620)	▲2,700 (1,400)
特別損益	▲210	▲690	▲900 <small>石油開発減損 ▲630</small>
当期純利益	▲230	▲2,170	▲2,400

<08年度セグメント別経常利益見通しの増減（10月公表比）>

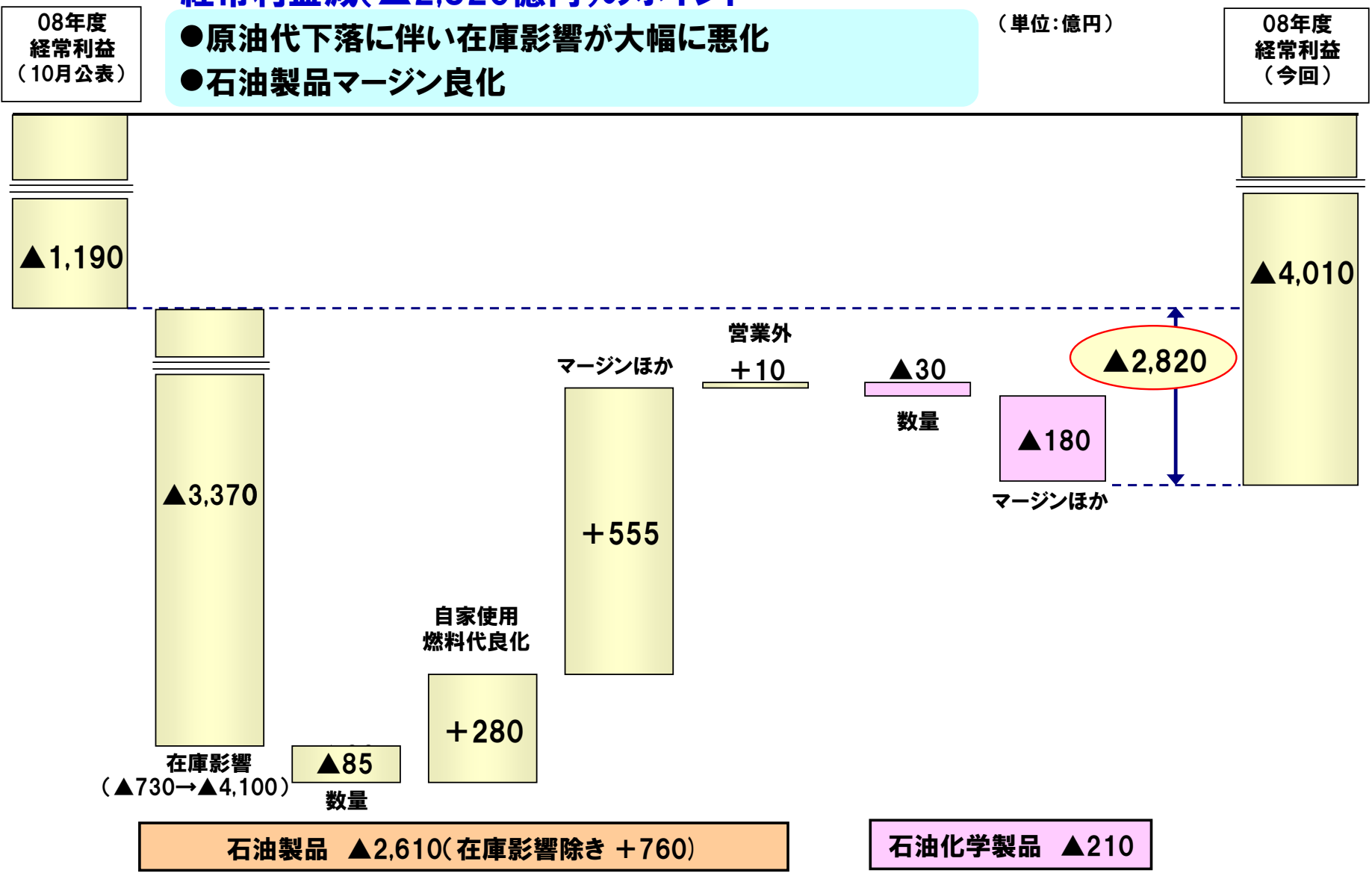
	08年度見通し (10月公表)	→	08年度見通し (今回)
	(億円)		(億円)
I. 石油精製・販売	▲ 1,190		▲ 4,010
うち 石油製品	▲ 910		▲ 3,520
(在庫影響)	(▲730)		(▲4,100)
(在庫影響除き)	(▲180)	(+760)	(580)
うち 石油化学製品	▲ 280		▲ 490
II. 石油・天然ガス開発	1,130	+70	1,200
III. 建設・その他	110	±0	110
経常利益計	50	▲2,750	▲ 2,700
(在庫影響除き)	(780)	(+620)	(1,400)

<08年度 石油精製・販売部門 経常利益見通し増減分析(10月公表比)>

-経常利益減(▲2,820億円)のポイント-

- 原油代下落に伴い在庫影響が大幅に悪化
- 石油製品マージン良化

(単位:億円)



<08年度 石油・天然ガス開発部門 経常利益見通し増減分析(10月公表比)>

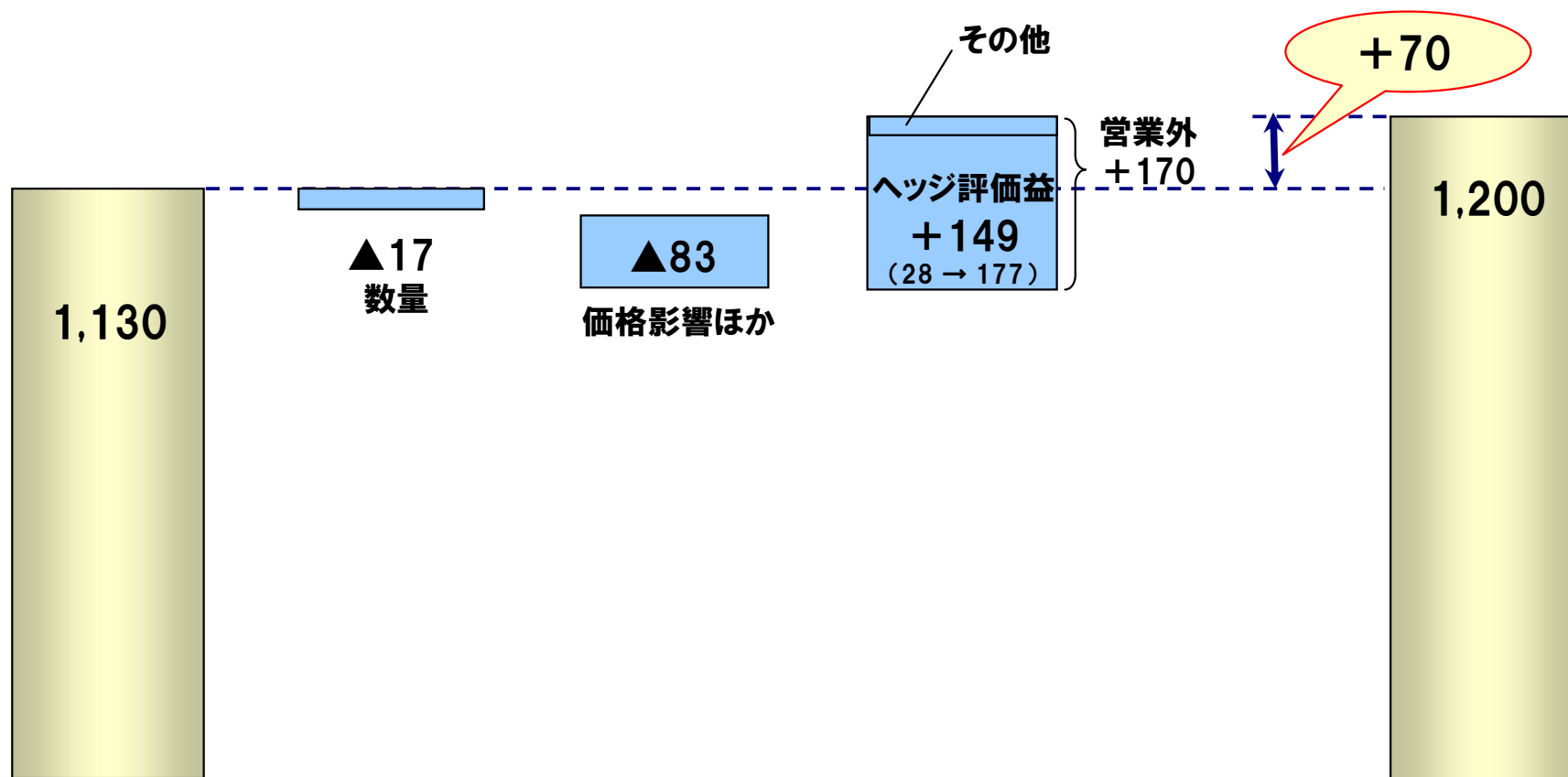
-経常利益増(+70億円)のポイント-

(単位:億円)

08年度
経常利益
(10月公表)

●数量減、原油価格の悪化があるものの
ヘッジ評価益の改善により増益

08年度
経常利益
(今回)



本説明会資料やIR全般に関するご意見、ご感想、お問い合わせは、
下記のIR担当までお願いいたします。

新日本石油株式会社
経営管理第1本部 IR部IRグループ
TEL(03)-3502-1184

<http://www.eneos.co.jp>

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

新日本石油株式会社 2008年度第3四半期決算

参考データ集

2009年1月30日

<目次>

1. 08年度第3四半期決算関連

セグメント別売上高・営業利益・経常利益 前年同期比	4P
セグメント別売上高・営業利益・経常利益（年度見通し）10月公表比	5P
セグメント別売上高・営業利益・経常利益（年度見通し）前年実績比	6P
セグメント別経常利益（年度見通し）増減分析 前年実績比	7P
08年度末 ネット実質有利子負債見通し	8P
油種別販売数量（単体）	9P
前提変化による期間損益影響額（概算）	10P

2. ガソリン・石化市況データ

油種別月間平均卸価格の変化幅（前月比）	12P
スプレッド（ガソリン末端価格－原油C I F）の推移	13P
スプレッド（バラキシレンドバイ）の推移	14P
スプレッド（ベンゼンードバイ）の推移	15P
スプレッド（プロピレンドバイ）の推移	16P

3. 石油関連事業

精製能力およびトッパー稼働率の推移	18P
販売シェア（白油4品・消費ベース）	19P
固定式SS数	20P
社有SS数、セルフSS数、Dr. Drive数	21P
油槽所数、従業員数	22P
主な海外拠点	23P
当社グループ製油所一覧	24P

4. 石油・天然ガス開発プロジェクト関連

主な石油・天然ガス開発プロジェクト拠点	26P
主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要	27P
当社の埋蔵量評価基準について	28P
確認埋蔵量および推定埋蔵量の定義	29P
個別プロジェクトの概要（米国メキシコ湾）	30P
”（英国北海）	31P ~ 34P
”（ベトナム）	35P
”（ミャンマー）	36P
”（マレーシア）	37P
”（サラワク）	38P ~ 39P
”（マレー半島沖海上）	40P
”（パプアニューギニア）	41P
”（オーストラリア）	42P ~ 43P
”（カナダ）	44P
”（インドネシア）	45P
”（リビア）	46P
”（タイ）	47P

1. 08年度第3四半期決算関連

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益（第3四半期累計） 前年同期比>

（単位：億円）

	2007年度第3四半期累計			増 減			2008年度第3四半期累計		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	48,808	1,220	1,460	+7,473	▲5,855	▲5,916	56,281	▲4,635	▲4,456
（在庫影響除き）	-	（▲240）	（0）	-	（▲145）	（▲206）	-	（▲385）	（▲206）
うち 石油製品	44,964	953	1,200	+7,705	▲5,295	▲5,352	52,669	▲4,342	▲4,152
（在庫影響）	-	（1,460）	（1,460）	-	（▲5,710）	（▲5,710）	-	（▲4,250）	（▲4,250）
（在庫影響除き）	-	（▲507）	（▲260）	-	（+415）	（+358）	-	（▲92）	（98）
うち 石油化学製品	3,844	267	260	▲232	▲560	▲564	3,612	▲293	▲304
石油・天然ガス開発部門	1,726	962	931	+208	+43	▲52	1,934	1,005	879
建設部門	2,212	11	25	▲24	▲12	▲14	2,188	▲1	11
その他部門	432	42	30	▲11	+23	+23	421	65	53
合 計	53,178	2,235	2,446	+7,646	▲5,801	▲5,959	60,824	▲3,566	▲3,513
（在庫影響除き）	-	（775）	（986）	-	（▲91）	（▲249）	-	（684）	（737）

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益（年度見通し） 10月公表比>

（単位：億円）

	08年度見通し（10月公表）			増 減			08年度見通し（1月公表）		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	81,570	▲1,400	▲1,190	▲12,070	▲2,830	▲2,820	69,500	▲4,230	▲4,010
（在庫影響除き）	-	(▲670)	(▲460)	-	(+540)	(+550)	-	(▲130)	(90)
うち 石油製品	75,810	▲1,130	▲910	▲10,830	▲2,620	▲2,610	64,980	▲3,750	▲3,520
（在庫影響）	-	(▲730)	(▲730)	-	(▲3,370)	(▲3,370)	-	(▲4,100)	(▲4,100)
（在庫影響除き）	-	(▲400)	(▲180)	-	(+750)	(+760)	-	(350)	(580)
うち 石油化学製品	5,760	▲270	▲280	▲1,240	▲210	▲210	4,520	▲480	▲490
石油・天然ガス開発部門	2,570	1,170	1,130	▲380	▲100	+70	2,190	1,070	1,200
建設部門	3,830	40	50	▲70	±0	±0	3,760	40	50
その他部門	530	70	60	+20	+10	±0	550	80	60
合 計	88,500	▲120	50	▲12,500	▲2,920	▲2,750	76,000	▲3,040	▲2,700
（在庫影響除き）	-	(610)	(780)	-	(+450)	(+620)	-	(1,060)	(1,400)

<セグメント別売上高・営業利益・経常利益（年度見通し）

前年実績比>

（単位：億円）

	07年度実績			増 減			08年度見通し(1月公表)		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
石油精製・販売部門	68,621	1,263	1,539	+879	▲5,493	▲5,549	69,500	▲4,230	▲4,010
（在庫影響除き）	-	(▲416)	(▲140)	-	(+286)	(+230)	-	(▲130)	(90)
うち 石油製品	63,580	1,029	1,313	+1,400	▲4,779	▲4,833	64,980	▲3,750	▲3,520
（在庫影響）	-	(1,679)	(1,679)	-	(▲5,779)	(▲5,779)	-	(▲4,100)	(▲4,100)
（在庫影響除き）	-	(▲650)	(▲366)	-	(+1,000)	(+946)	-	(350)	(580)
うち 石油化学製品	5,041	234	226	▲521	▲714	▲716	4,520	▲480	▲490
石油・天然ガス開発部門	2,349	1,267	1,113	▲159	▲197	+87	2,190	1,070	1,200
建設部門	3,710	61	72	+50	▲21	▲22	3,760	40	50
その他部門	560	49	33	▲10	+31	+27	550	80	60
合 計	75,240	2,640	2,757	+760	▲5,680	▲5,457	76,000	▲3,040	▲2,700
（在庫影響除き）	-	(961)	(1,078)	-	(+99)	(+322)	-	(1,060)	(1,400)

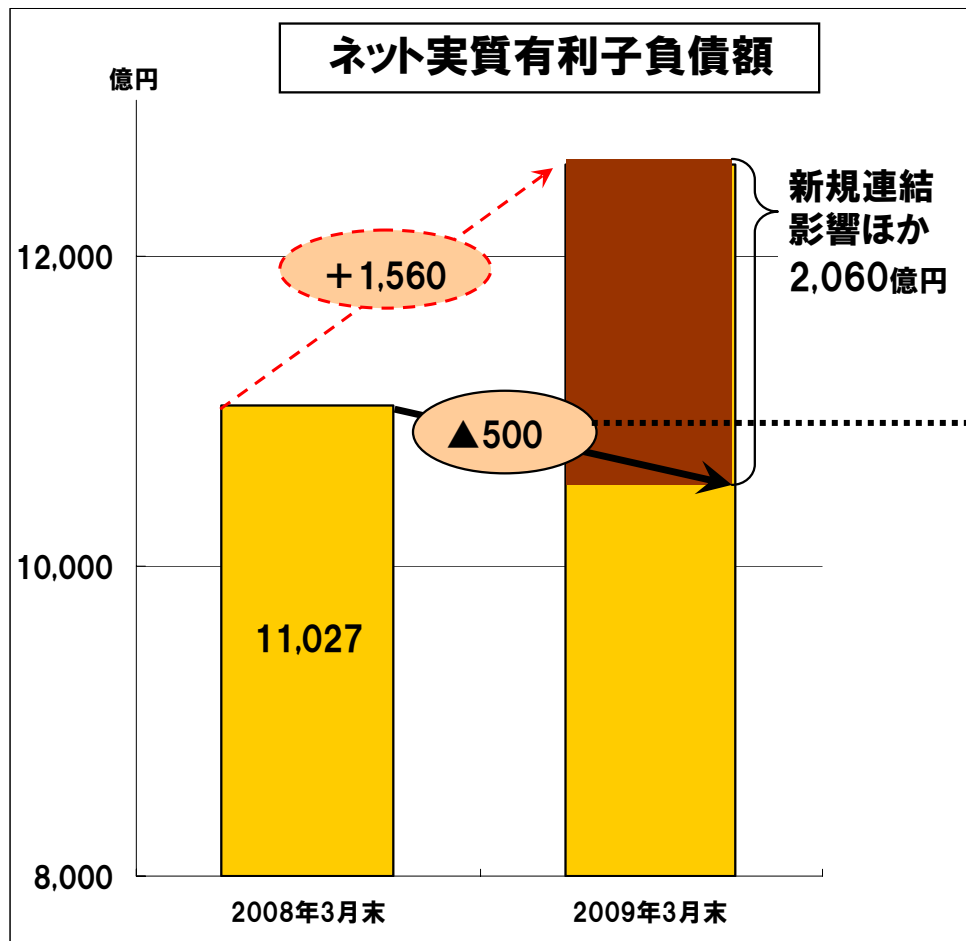
<セグメント別経常利益(年度見通し)増減分析 (前年実績比)>

経常利益: ▲2,700億円 (前年比 ▲5,457億円)

在庫影響除き: 1,400億円 (前年比 +322億円)

				億円		
1. 石油精製・販売		(▲140 ⇒ 90)		+230		
石油 製品	(1)販売数量減	▲50	}	+946	}	
	(2)マージンほか	+1,050				
	(3)営業外	▲54				
石油 化学 製品	(4)販売数量減	▲20	}	▲716		}
	(5)マージンほか	▲694				
	(6)営業外	▲2				
2. 石油・天然ガス開発		(1,113 ⇒ 1,200)		+87		
	(1)販売数量減	▲330	}	+87	}	
	(2)販売価格上昇	+130				
	(3)営業外	+287				
3. 建設・その他		(105 ⇒ 110)		+5		
在庫影響除き経常利益		(1,078 ⇒ 1,400)		+322		
				億円 在庫影響 + ▲5,779 = ▲5,457 (1,679→▲4,100)		

<08年度末 ネット実質有利子負債見通し>



資金収支見通し

(単位:億円)

営業活動関連

税金等調整前純利益	▲3,600
減価償却費	1,800
減損損失	630
運転資金減少ほか	6,060

小計 **4,890**

投資活動関連

設備投資	▲3,250
九州石油統合	▲740

小計 ▲3,990

財務活動関連

配当	▲400
----	------

小計 ▲400

合計 **500**

<08年度第3四半期累計 油種別販売数量 (単体)>

油種	07年度 第3四半期累計	08年度 第3四半期累計	増減率(%)
揮発油	1,052 万KL	1,012 万KL	▲3.7 %
(ハイオク)	(178)	(157)	(▲11.2)
(レギュラー)	(863)	(845)	(▲2.1)
ナフサ	130	141	+8.8
ジェット	95	85	▲10.6
灯油	347	288	▲17.0
軽油	634	611	▲3.7
A重油	449	371	▲17.5
C重油	562	577	+2.8
(電力C重油)	(329)	(385)	(+17.0)
(一般C重油)	(233)	(192)	(▲17.3)
内需燃料油計	3,269	3,085	▲5.6
原油	258	217	▲15.8
潤滑油・特品	196	172	▲12.2
化学品	281	264	▲6.1
LPG・石炭	624	544	▲12.8
輸出燃料油	509	679	+33.6
ジョイント等除き計	5,137	4,961	▲3.4
ジョイント等	1,373	1,367	▲0.4
総計	6,510	6,328	▲2.8

<08年度:前提変化による期間損益影響額(概算)>

-経常利益ベース-

年度見通し前提(09年1月積み以降)

原油価格 トハイ 45 \$/Bbl
為替レート 90円/\$

(単位:億円)

	原油価格	為替レート
	1 \$/Bbl 下落	1円/\$ 円高
石油精製・販売部門	+5	±0
在庫影響	▲30	▲15
合計 (在庫影響含み)	▲25	▲15

注:上記影響額は、一定の前提の下での理論値であり、原油価格や為替レートの動き方および生産・販売・在庫数量等の状況により、実際の影響額は変動します。

また、石油開発会社は、12月決算であるため、1月以降の原油価格および為替レート変動による影響はありません。

2. ガソリン・石化市況データ

<油種別月間平均卸価格の变化幅（前月比）>

【当社公表値】

（単位：円／ℓ）

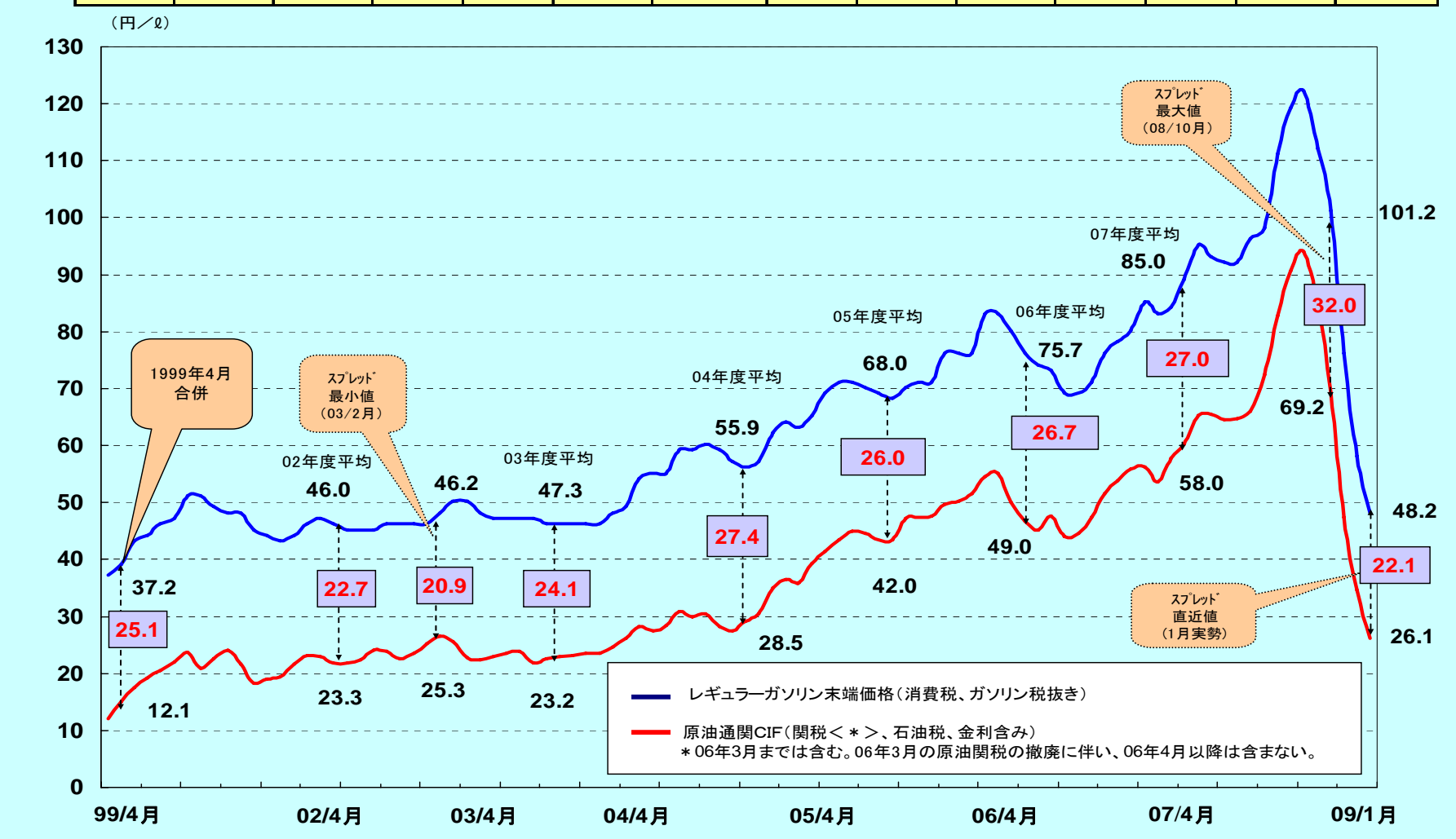
油種	08年10月	08年11月	08年12月
ガソリン	▲14.7	▲23.2	▲16.8
灯油	▲13.6	▲20.1	▲9.1
軽油	▲9.7	▲16.5	▲15.1
A重油	▲7.6	▲16.2	▲15.3
4油種平均 (a)	▲11.9	▲19.7	▲14.5
月次コスト変化：前月比 (b)	▲12.5	▲21.9	▲17.6
差異 (a-b)	+0.6	+2.2	+3.1

※油種別月間改定幅は、週別の日数加重平均にて算出しています。

※4油種平均は、公表時における当社油種別出荷見込数量に基づき算出しています。

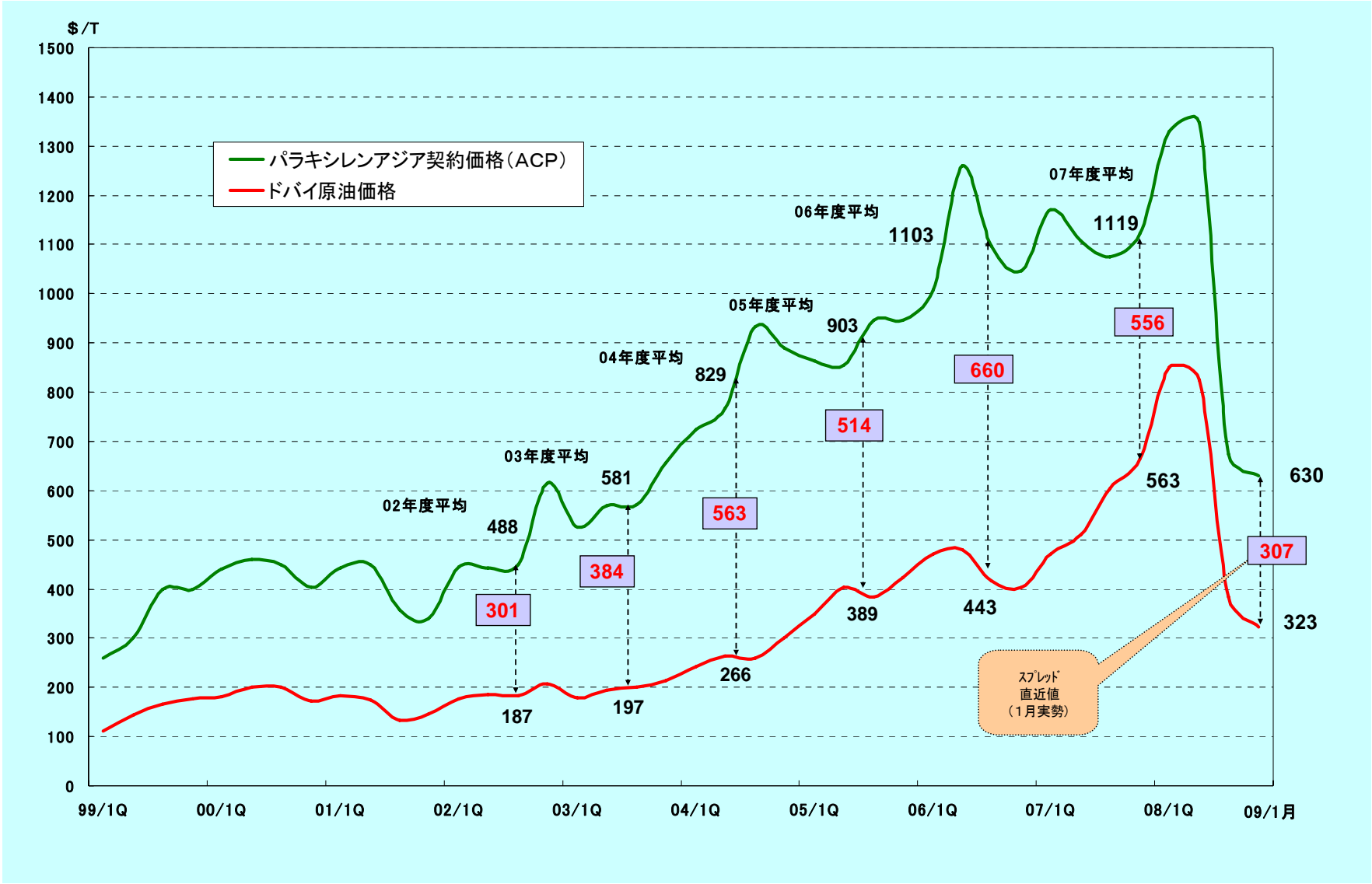
<スプレッド（ガソリン末端価格－原油CIF）の推移>

06/上期	06/下期	06/通期	07/4-6	07/7-9	07/上期	07/10-12	08/1-3	07/下期	07/通期	08/4-6	08/7-9	08/上期	08/10-12
26.3	27.3	26.7	24.3	27.7	26.0	28.5	27.7	28.1	27.0	28.0	28.2	28.1	28.1

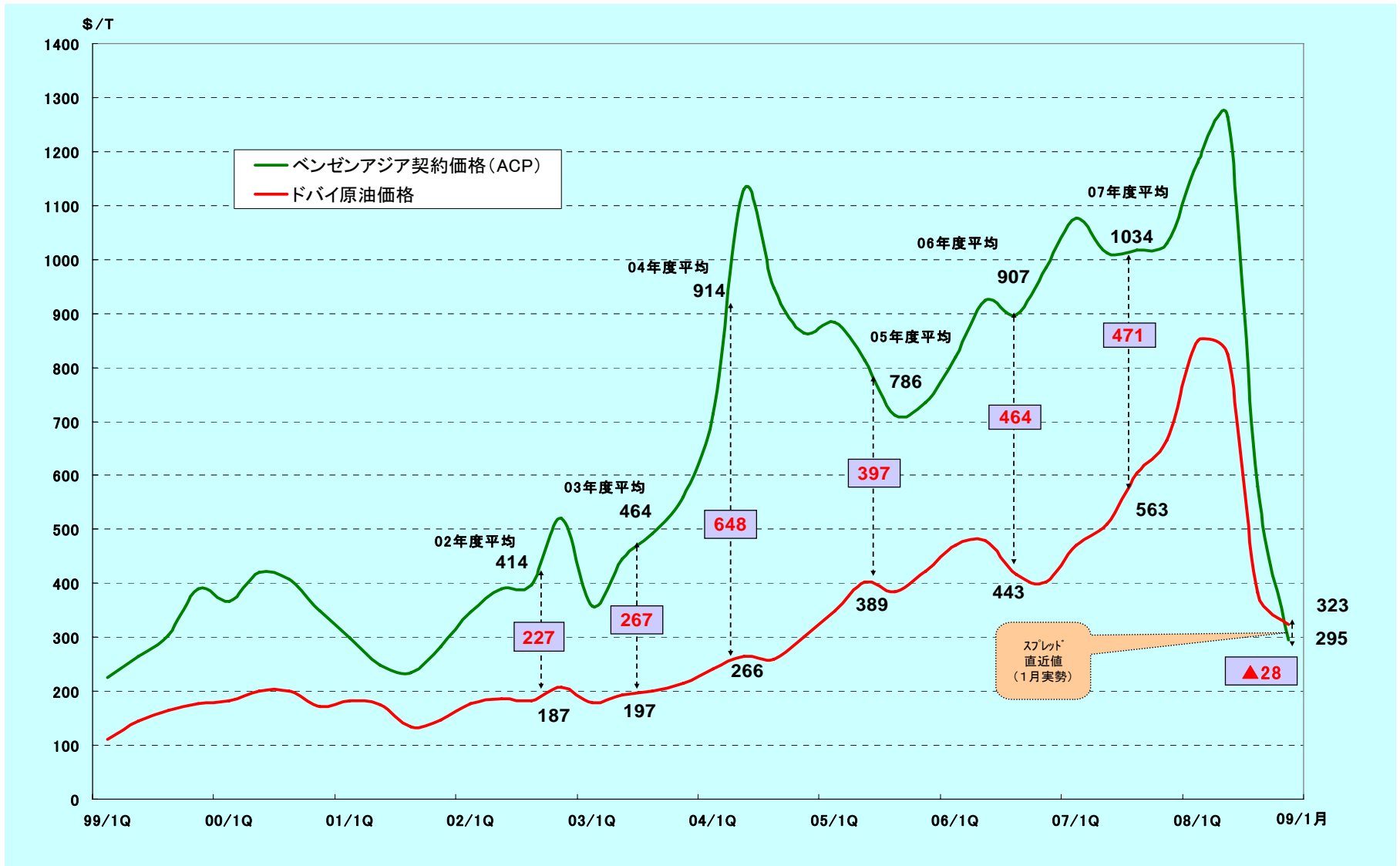


出所: 石油情報センターほか

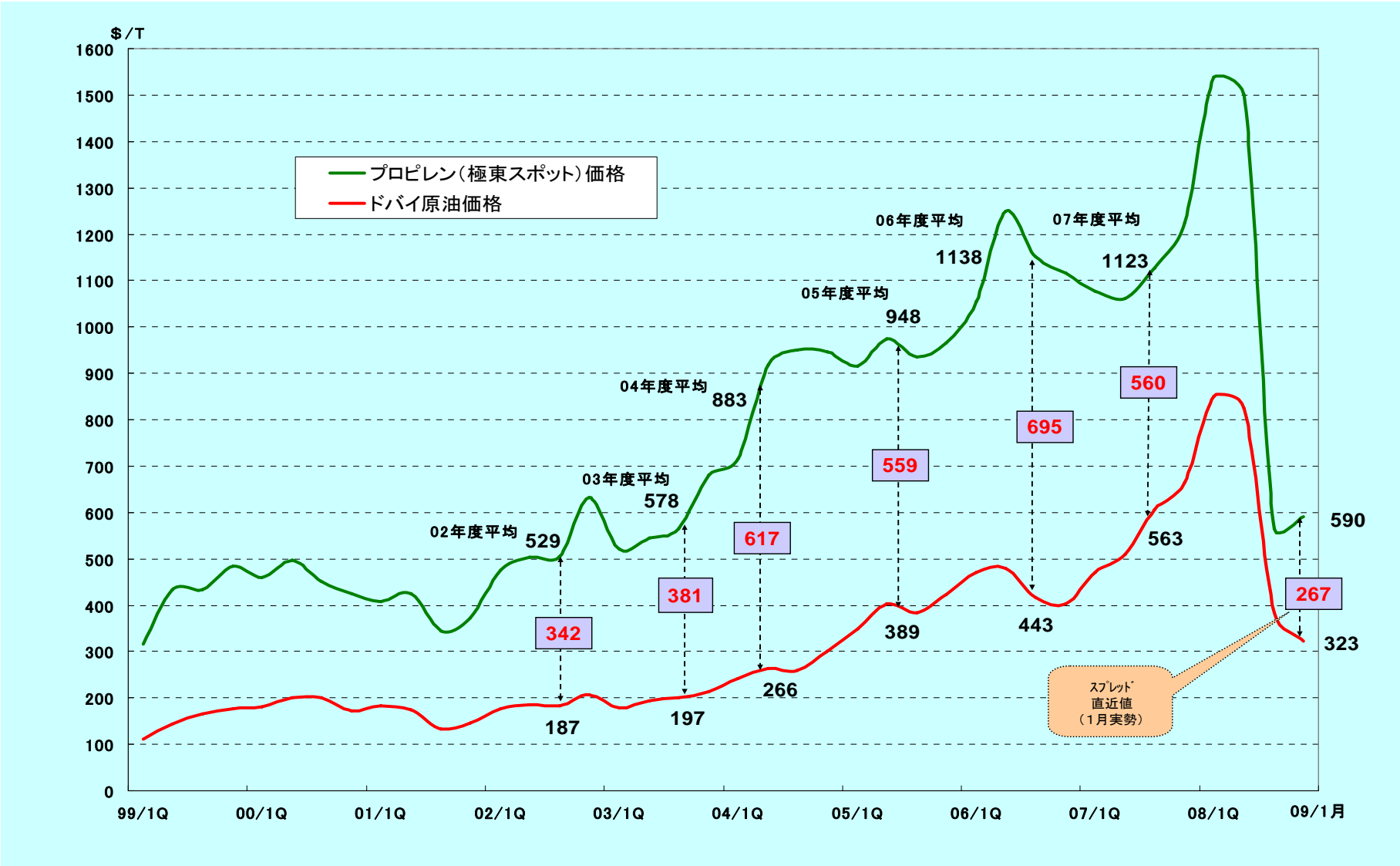
<スプレッド（パラキシレン価格－ドバイ原油価格）の推移>



<スプレッド（ベンゼン価格ードバイ原油価格）の推移>



<スプレッド（プロピレン価格－ドバイ原油価格）の推移>



3. 石油関連事業

<精製能力およびトッパー稼働率の推移>

(単位:百万BD)

	合 併						
	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
新日石グループ ^{*1}	1.35 (74%)	1.35 (76%)	1.23 (81%)	1.22 (84%)	1.27 (83%)	1.22 ^{*3} (87%)	1.22 (88%)
全 国	5.35 (77%)	5.27 (79%)	4.97 (81%)	4.98 (81%)	4.89 ^{*2} (83%)	4.77 ^{*3} (84%)	4.77 (87%)

06年度			07年度			08年度	
上期	下期	年度	上期	下期	年度	上期	10-12月
1.22 (83%)	1.22 (85%)	1.22 (84%)	1.22 (79%)	1.22 (88%)	1.22 (84%)	1.22 (79%)	1.38 ^{*6} (76%)
4.77 (81%)	4.83 ^{*4} (86%)	4.83 ^{*4} (83%)	4.84 ^{*5} (79%)	4.89 ^{*5} (87%)	4.89 ^{*5} (83%)	4.89 (78%)	4.89 (-)

注: 1. 精製能力は各年度末における数値、括弧内のトッパー稼働率数値は各年度における平均値。

2. 原油処理停止(出光興産兵庫製油所:2003年4月、出光興産グループ沖縄石油精製:2003年11月)

3. 原油処理停止(出光興産グループ東邦石油:2004年4月)、原油処理の一部停止(新日本石油根岸製油所:2004年4月、昭和シェル石油グループ昭和四日市石油:2004年6月)

4. 原油処理能力増(コスモ石油四日市・坂出2006年12月、JEグループ鹿島石油2006年6・10月)

5. 原油処理能力増(九州石油2007年6月、JEグループ鹿島石油 2007年11月)

6.大分製油所を含むグループ合計(※08年度上期は大分を含まず)

(出所:経済産業省、石油連盟ほか)

<販売シェア（白油4品・消費ベース）>

単位(%)

油種	合併										単位(%)		
	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度 上期	08年度 10-12月	08年度 4-12月	
揮発油	23.2	22.9	22.8	23.2	23.3	23.9	23.6	23.2	23.1	22.9	23.8	23.2	
(ハイオク)	23.4	23.2	24.1	24.6	24.6	25.4	26.2	25.2	25.0	-	-	-	
灯油	23.4	23.3	23.9	24.4	24.3	27.6	27.7	26.3	27.0	28.8	25.5	27.0	
軽油	22.8	22.4	22.0	22.7	22.6	23.0	23.2	22.9	23.6	24.1	23.6	23.9	
A重油	23.4	23.9	24.3	26.3	28.1	30.4	29.1	29.4	29.6	30.4	25.8	28.8	
4品計	23.2	23.0	23.1	23.9	24.2	25.5	25.3	24.6	24.8	24.8	24.3	24.6	

注：08年度上期は新日石のみ(九石を含まず)

<固定式SS数>

	合併										08年 12月末
	99年度	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	99年度 07年度	
新日本石油	13,162	12,669	11,987	11,694	11,333	11,059	10,807	10,368	9,919	75.4%	10,119
E M G K *1	8,101	7,898	7,597	7,278	6,904	6,701	6,464	6,044	5,635	69.6%	5,243
出光興産	6,493	6,114	5,896	5,624	5,508	5,358	5,249	5,059	4,913	75.7%	4,703
昭和シェル	5,962	5,642	5,402	5,153	4,968	4,808	4,689	4,560	4,481	75.2%	4,324
コスモ	5,916	5,600	5,373	5,152	4,926	4,709	4,552	4,359	4,188	70.8%	3,998
Jエナジー	4,952	4,646	4,476	4,296	4,150	4,023	3,833	3,708	3,608	72.9%	3,441
その他元売 *2	2,128	1,916	1,733	1,642	1,593	1,500	1,439	1,388	1,383	65.0%	686
元 売 計	46,714 (87.6%)	44,485 (85.6%)	42,464 (83.4%)	40,839 (82.3%)	39,382 (80.4%)	38,158 (79.5%)	37,033 (78.8%)	35,486 (78.9%)	34,127 (79.4%)	73.1%	32,514
P B ほか	6,593 (12.4%)	7,472 (14.4%)	8,436 ^{*3} (16.6%)	8,761 ^{*3} (17.7%)	9,618 ^{*3} (19.6%)	9,842 ^{*3} (20.5%)	9,967 ^{*3} (21.2%)	9,514 ^{*3} (21.1%)	8,873 ^{*3} (20.6%)	134.6%	—
合 計	53,307	51,957	50,900 ^{*3}	49,600 ^{*3}	49,000 ^{*3}	48,000 ^{*3}	47,000 ^{*3}	45,000 ^{*3}	43,000 ^{*3}	80.7%	—

注: 1. エッソ、モービル、ゼネラル、キグナスの合算ベース
 2. 九石、太陽、三井の合算ベース
 3. 当社推定

4. 2008年9月末時点
 5. 太陽・三井の合算ベース(2008年9月末時点)

(出所: 燃料油脂新聞、石油情報センターほか)

<社有SS数、セルフSS数、Dr. Drive数>

<社有SS数>

	合 併										
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年9月	2008年12月
新日本石油	3,053	2,945	2,857	2,746	2,607	2,518	2,436	2,309	2,175	2,172 ^{*1}	2,134

注：1. 九石合算ベース(新日石2,084、九石88)

<セルフSS数>

	合 併										
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年9月	2008年12月
新日本石油	21	54	142	342	520	651	794	1,055	1,230	1,457 ^{*3}	1,492
全 国 ^{*2}	191	422	1,353	2,522	3,423	3,493	4,257	5,203	6,009	6,280	—

注：2. 元売系列のセルフSSのみ

3. 九石合算ベース(新日石1,280、九石177)

(出所：石油情報センター、燃料油脂新聞)

<Dr. Drive数>

	合 併										
	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年9月	2008年12月
新日本石油	44	390	1,283	1,610	1,871	1,963	2,505	2,403	2,287	2,218	2,168

<油槽所数、従業員数>

<油槽所数>

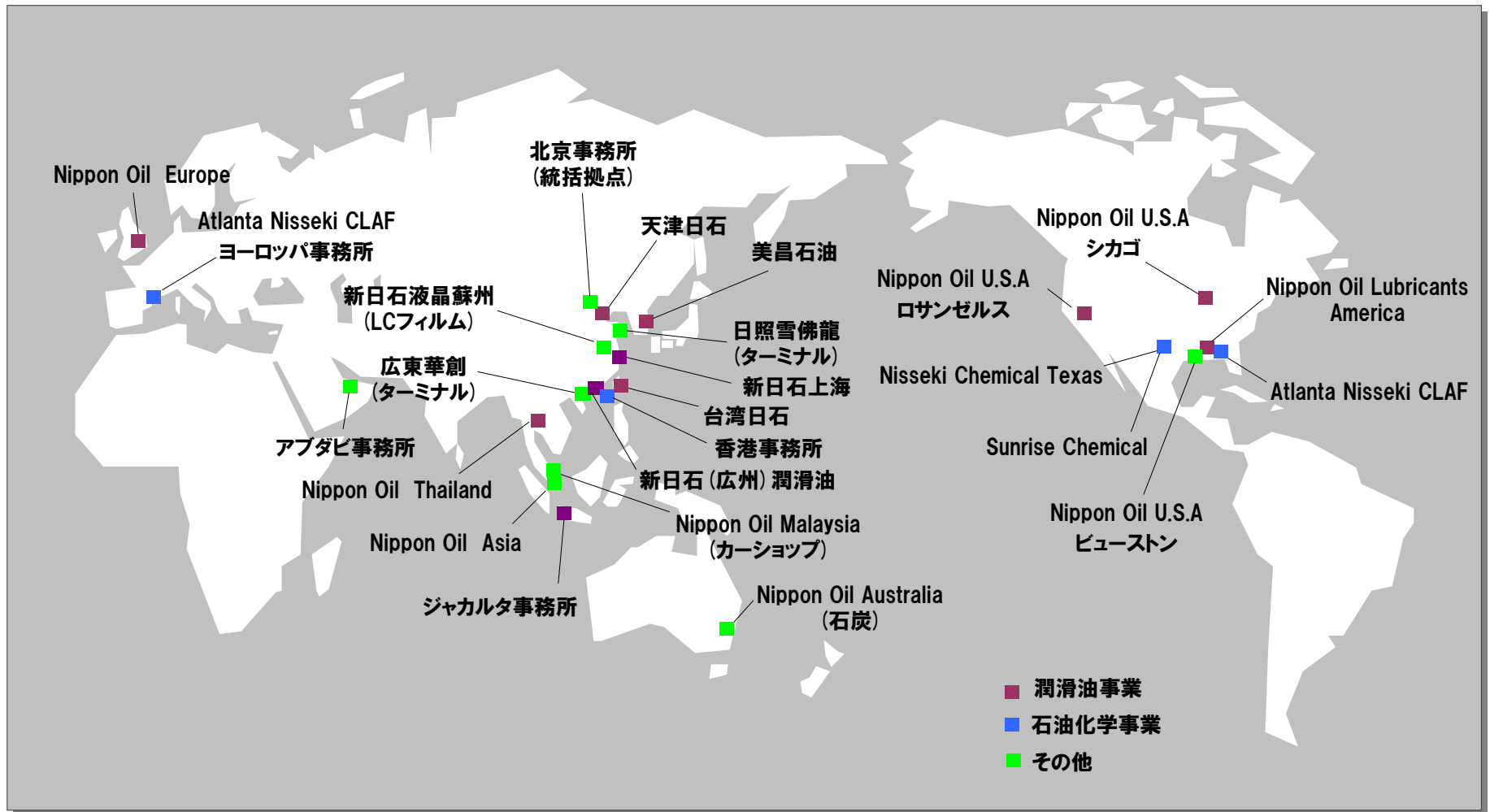
	合 併					
	1999年4月	2000年4月	2001年4月	2002年4月	2003年4月	2004年4月
新日本石油	109	93	75	62	55	51
	2005年4月	2006年4月	2007年4月	2008年4月	2008年10月	2009年1月
	50	50	48	46	49	49

<従業員数>

	合 併					
	1999年3月	2000年3月	2001年3月	2002年3月	2003年3月	2004年3月
新日本石油グループ	15,964	15,570	14,895	14,368	13,882	14,347*2
(うち新日石・新日精)	(5,163)	(4,602)	(4,290)	(4,108)	(4,990)*1	(4,920)
	2005年3月	2006年3月	2007年3月	2008年3月	2008年9月	2008年12月
	13,424	13,628	13,214 *4	12,697 *6	14,257 *7	14,218
	(4,437)	(4,705)*3	(4,907)*5	(4,894)	(5,447)*8	(6,016)*9

- 注:
1. 旧日石三菱精製、旧東北石油、旧興亜石油の合併(02/4)により、人員数増加。
 2. 大日本土木の新規連結により、人員数増加。
 3. 新日本石油ガスとの合併により、人員数増加。
 4. イドムコココミュニケーションズを連結除外したため、人員数減少。
 5. 新日本石油化学の本社部門統合、新規採用増等により人員数増加。
 6. 販売子会社(石油・精製販売部門)の再編に伴うグループ外への転籍による人員数減少。
 7. ENEOSフロンティア傘下の持分法適用会社14社を新規連結(08/4)、九州石油の子会社化(08/9)による人員数増加。
 8. 新日本石油精製が新日本石油化学を吸収合併したことによる人員数増加(08/4)。
 9. 九州石油との経営統合による人員増加(08/10)。

主な海外拠点



<当社グループ製油所一覧 >

全日本の石油精製能力(09年1月末時点) *1

元売グループベース	製油所数	能力(万バレル)	精製シェア
新日石グループ *2	7	132	27.2%
ジャパンエナジー	2	48	9.8%
東燃ゼネラル	4	84	
出光興産	4	64	
コスモ石油	4	64	
昭和シェル石油	3	52	
その他	4	42	
合計	28	484	

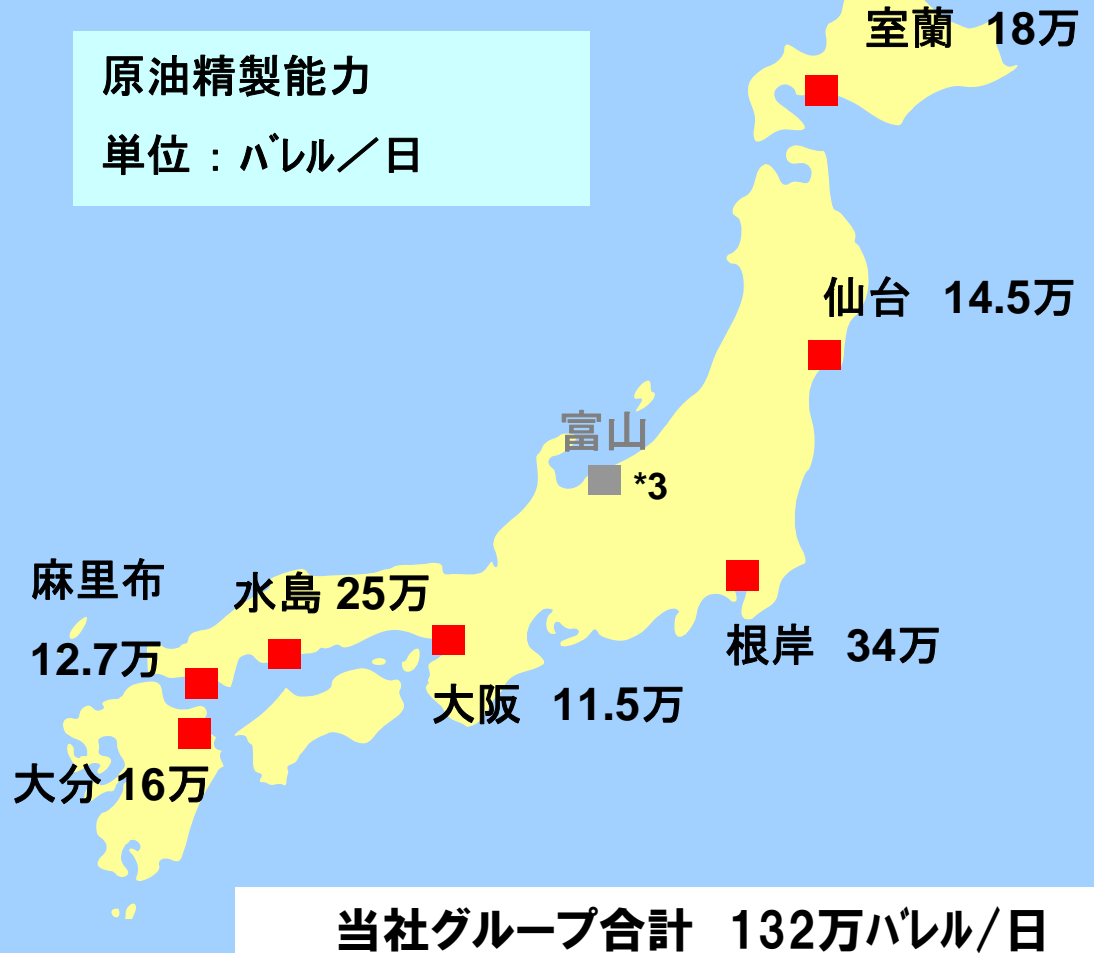
(注)

1. 当社推定
2. 富山製油所除き
3. 富山製油所 6万バレル/日
(09年1月末 原油処理停止)

当社グループ製油所一覧

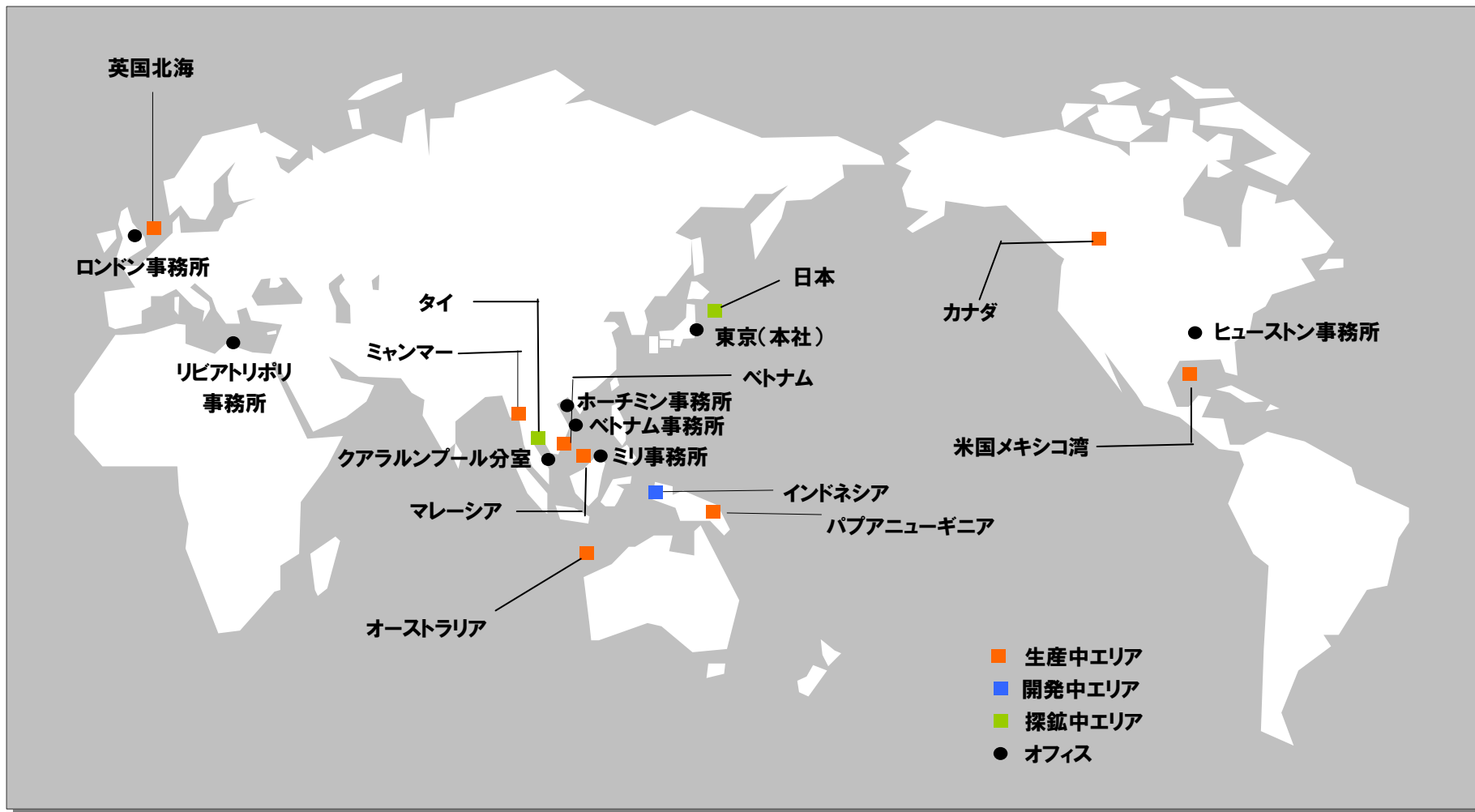
原油精製能力

単位：バレル/日



4. 石油・天然ガス開発 プロジェクト関連

<主な石油・天然ガス開発プロジェクト拠点>



<主な石油・天然ガス開発プロジェクトの概要> (2008年1-12月(平均) ※一部速報値を含む)

プロジェクト地域/会社	総生産量 (千BD)	権益原油 (千BD)		埋蔵量*1 (百万Bbl) PCベース
		PCベース	当社持分ベース	
[米国メキシコ湾] NOEX U. S. A.	46	9	9	48
[英国北海] 日本ノースシー石油 NOEP U. K.	106 105	7 6	5 6	13 25
[ベトナム] 日本ベトナム石油	45	17	16	<東南アジア計> 352
[ミャンマー] 日石ミャンマー	76	9	4	
[マレーシア] 日石マレーシア 日石サラワク	48 170	23 36	18 27	
[パプアニューギニア] 日本パプアニューギニア石油	43	2	1	<大洋州計> 9
[オーストラリア] NOEX Australia Pty Ltd.	10	3	3	
[カナダ*2] 日本カナダ石油	289	14	14	261
合 計	936	126	105	708

*:2007年12月時点の確認埋蔵量および推定埋蔵量(現在開発中のプロジェクトの埋蔵量を含む)

<当社の埋蔵量評価基準について>

当社の埋蔵量評価は、「SPE新基準」に準拠しております。

SPE新基準とは、SPE（Society of Petroleum Engineers、石油技術者協会）、WPC（World Petroleum Congress、世界石油会議）、AAPG（American Association of Petroleum Geologist、米国石油地質家協会）およびSPEE（Society of Petroleum Evaluation Engineers、石油評価技術協会）の4組織が策定し、2007年3月に公表された資源量および埋蔵量に関する基準のことです。

SPE新基準は、現状の技術革新や経済的背景に合致した世界基準を目指し、各石油会社や世界各国における埋蔵量の定義、分類に関する調査や外部からの意見聴取を行い、多くの会社からの意見を反映したものとなっています。

埋蔵量は、その確からしさの順に、確認・推定・予想埋蔵量に区分されます。当社の報告埋蔵量は、同業他社の動向に鑑み、SPE新基準において定義されている埋蔵量(Reserves)のうち、確認および推定埋蔵量の合計値<次頁参照>を採用しております。

< 確認埋蔵量および推定埋蔵量の定義 >

確認埋蔵量の定義:

既発見貯留層から当社が想定する経済条件、操業方法、法規制等のもと、地球科学的および生産・油層工学的データの分析により高い確度をもって商業回収可能と合理的に評価される石油・天然ガス量のことを指す。

確率的には、実際の回収量がその評価値以上になることが、90%以上あるとされている。

推定埋蔵量の定義:

確認埋蔵量と同様に評価されるものの、回収可能性が確認埋蔵量より低く、予想埋蔵量より高いと評価される追加石油・天然ガス埋蔵量のことを指す。

確率的には、実際の回収量が確認および推定埋蔵量の評価合計値以上になることが、50%以上あるとされている。

<個別プロジェクトの概要>

米国メキシコ湾



【08年1-12月生産数量】 9,400boed
(油 4,200b/d、ガス 32mmcf/d)

【プロジェクト会社】()内 当社グループの
出資比率Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd.
(100%)

【権益比率】 1.6%-100%

【オペレーター】
Nippon Oil Exploration U.S.A. Ltd.、
ココフィリップス、トータル 他

1990年 テキサス州陸上鉱区、米国メキシコ
湾大陸棚域および深海域において
探鉱・開発・生産事業を展開。

オーチャードノース・ガス田、アコンカグア・ガス田、
バーゴ・ガス田に加え、2005年デボン社より
2007年にはアナダルコ社よりメキシコ湾の権益
を取得。

<個別プロジェクトの概要>



【08年1-12月生産数量】 13,200boed
(油 8,100b/d、ガス 31mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
 ・日本ノースシー石油(株)(100%)
 ・Nippon Oil Exploration and Production U.K. . Ltd(100%)

【権益比率】 4.0%-50%

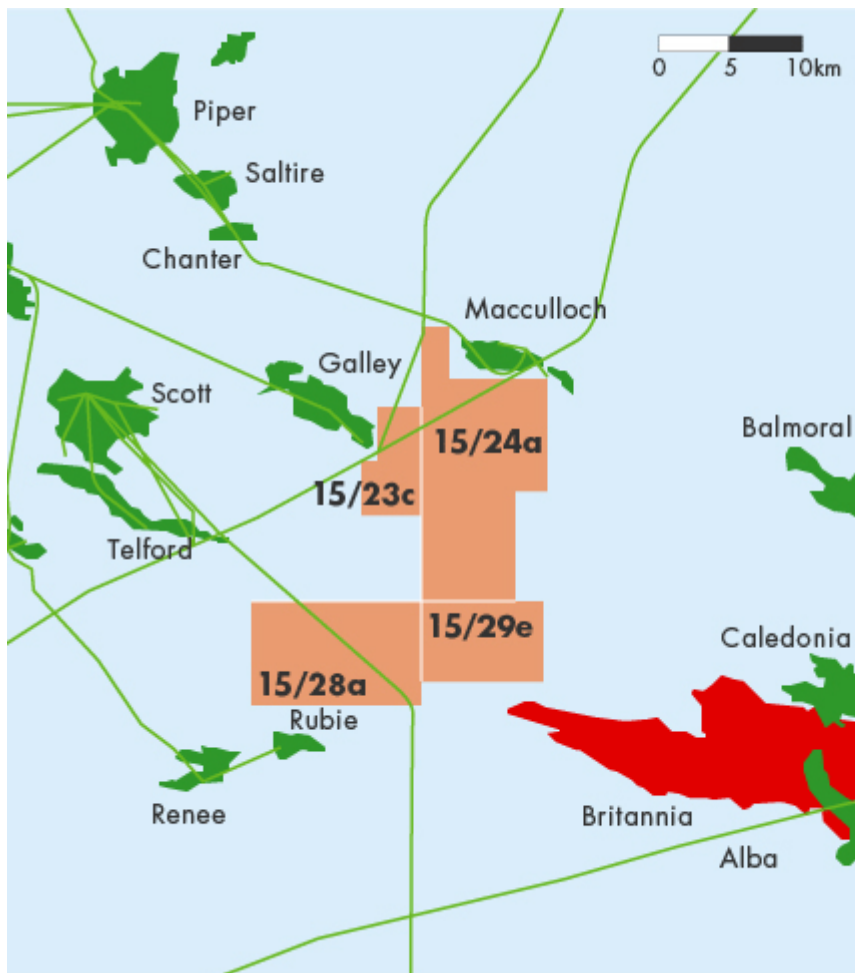
【オペレーター】 BP、シェル、マラソン 他

・日本ノースシー石油(株)
 1994年 アンドリュー、ムンゴ/モナン、ピアス、ミレン/マドース及びブレイン油田の権益を取得。現在、探鉱・開発・生産事業を展開中。

・Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd 1996年 マグナス油田、2002年 ブレイガス田、フィデック・ガス田の権益を取得。現在、開発準備及び生産事業を推進中。

<個別プロジェクトの概要>

英国北海② <当社オペレーターエリア>



- 油田
- ガス田
- 油パイプライン
- Nippon Oil Exploration and Production U.K. 権益保有鉱区

英国大陸棚24次ライセンス・ラウンド (2006)での新規取得鉱区

2007年2月 英国政府が実施した公開入札にて、Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd. が6つの新規探鉱鉱区を取得。うち4鉱区については英領北海では日本企業初となるオペレータを担う。

【権益比率】 17.1%-30%

【オペレーター】

< 鉱区 : 15/23C、15/24a、15/28a、15/28e >

Nippon Oil Exploration and Production U.K. Ltd.

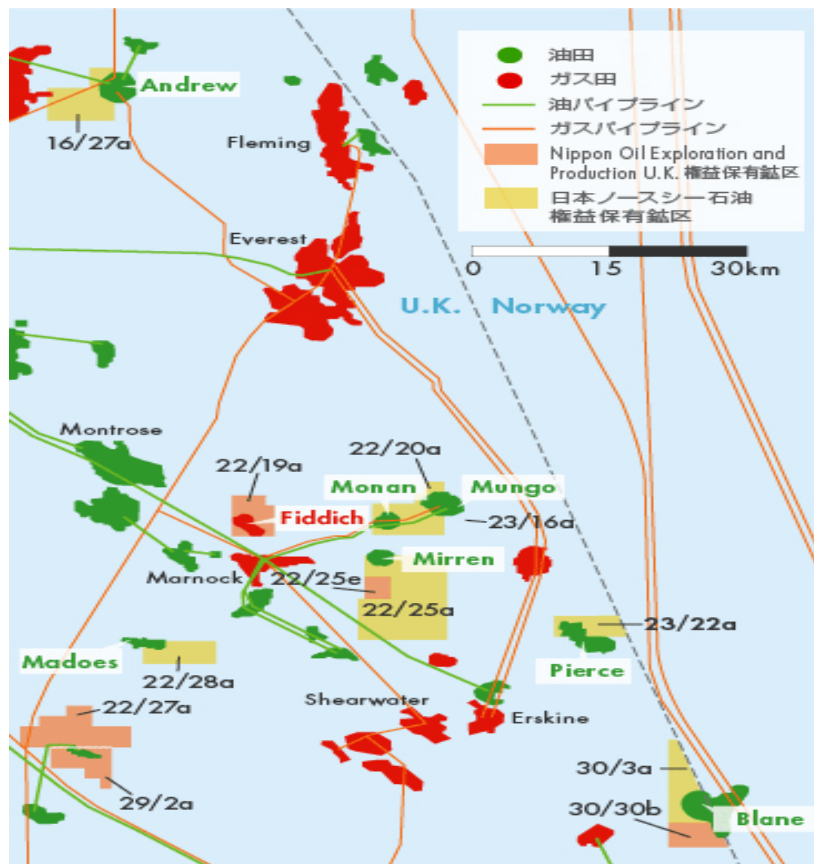
< 鉱区 : 22/25c、30/3b >

Maersk Oil North Sea Uk Limited

(デンマーク法人: マースク社の開発子会社)

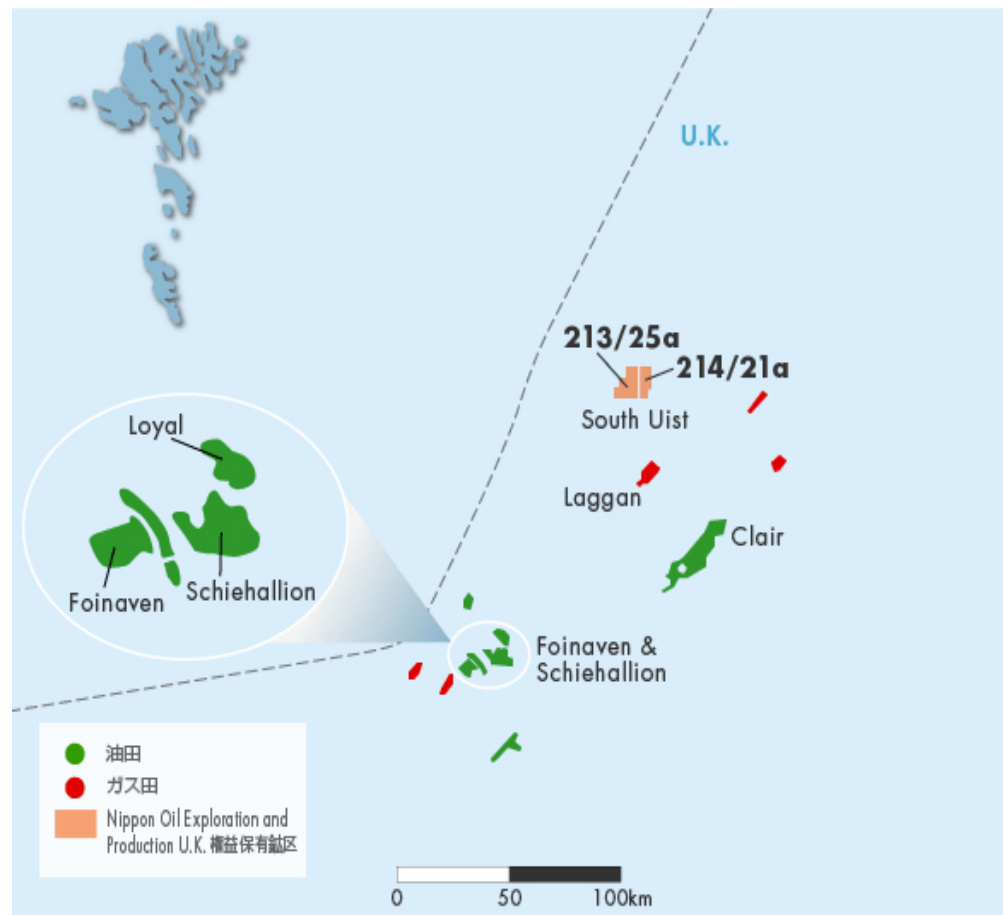
<個別プロジェクトの概要>

英国北海③ <当社ノンオペレーターエリア>



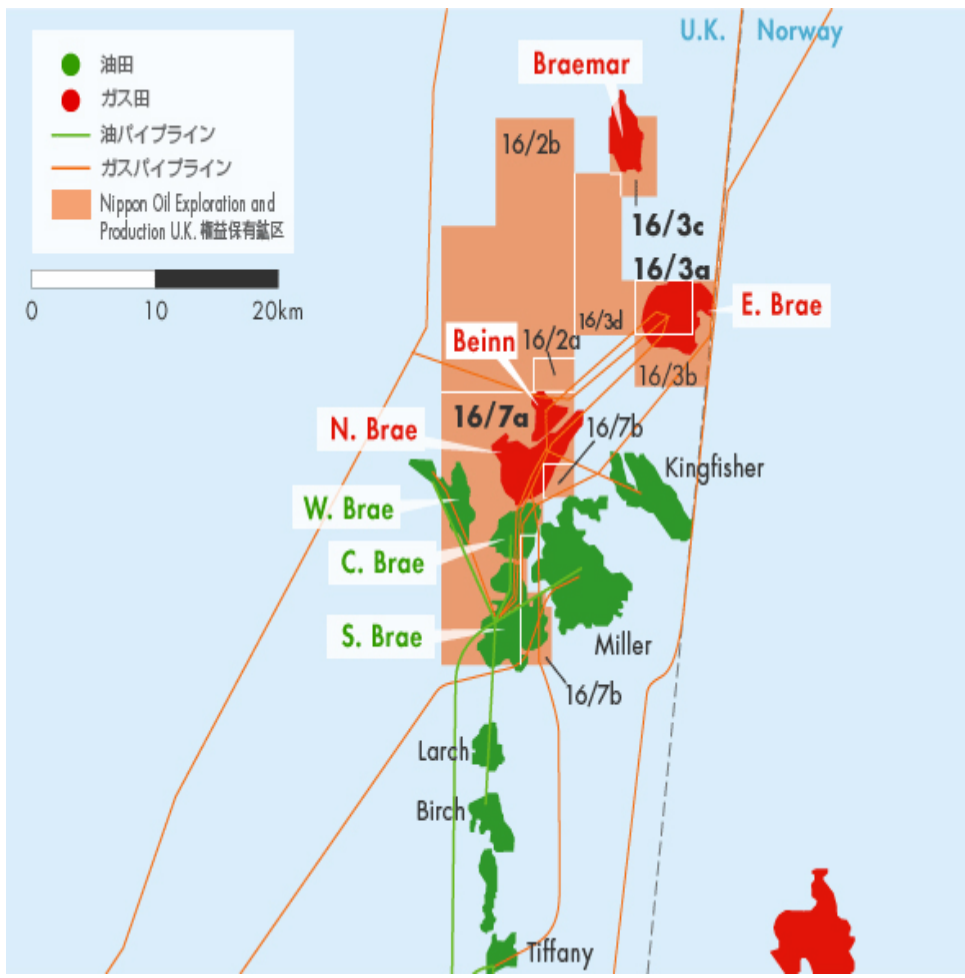
英国大陸棚24次ライセンス・ラウンド(2006)での新規取得鉱区(2)

英国北海④

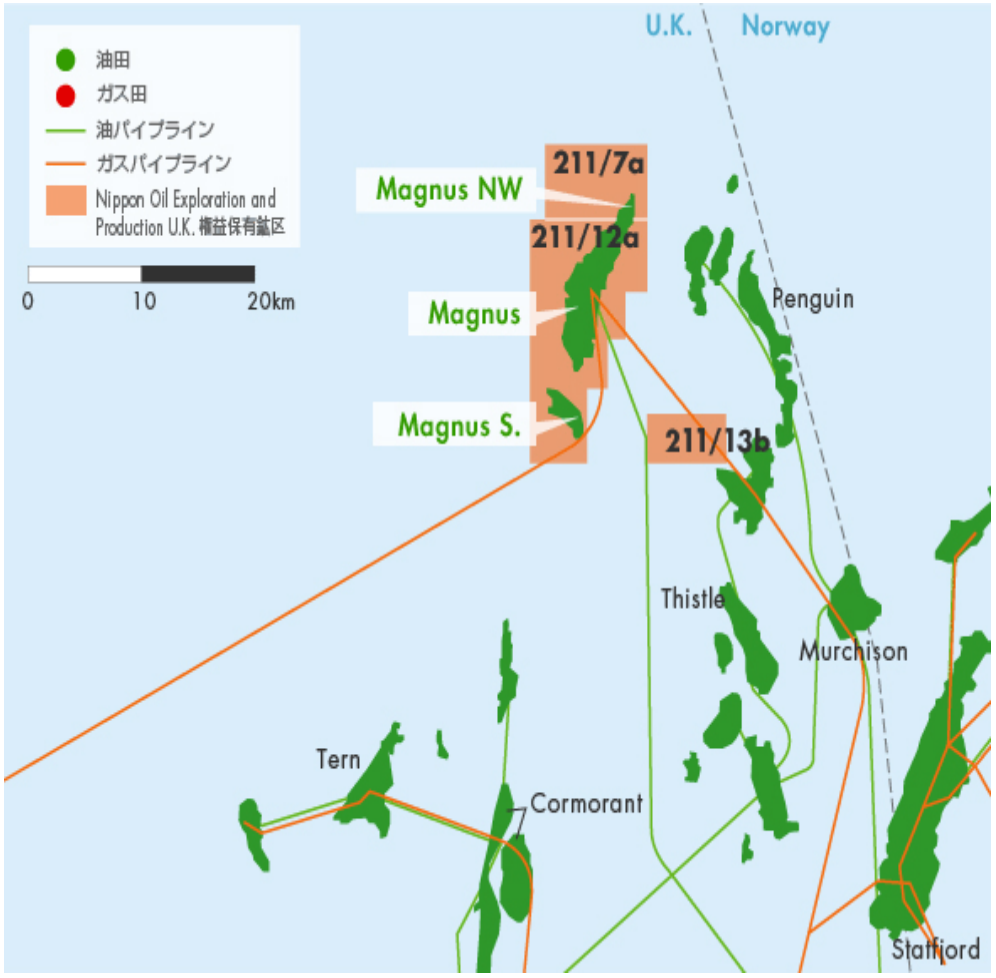


<個別プロジェクトの概要>

英国北海⑤

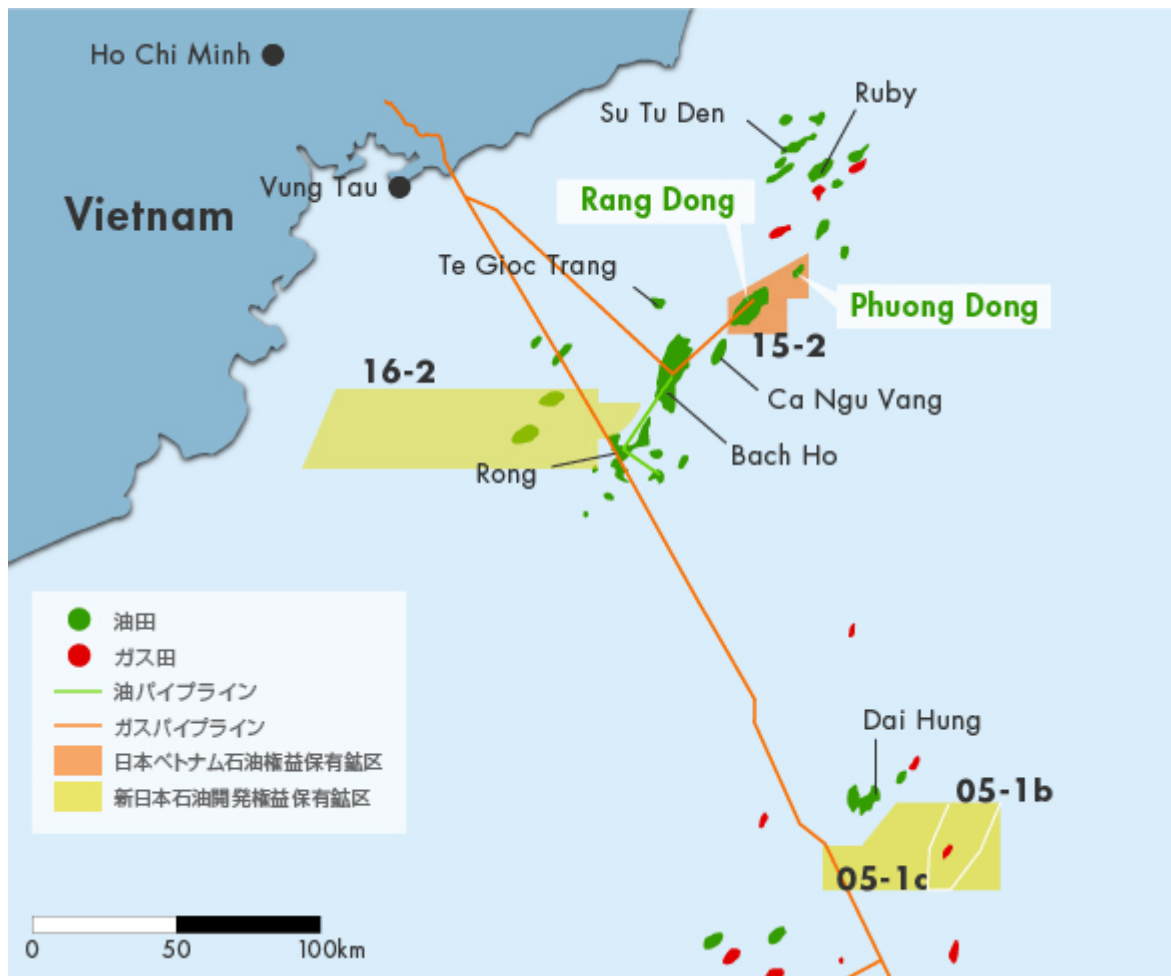


英国北海⑥



<個別プロジェクトの概要>

ベトナム



【08年1-12月生産数量】17,000boed
(油 11,200b/d、ガス 35mmcf/d)

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
日本ベトナム石油(株)(97.1%)

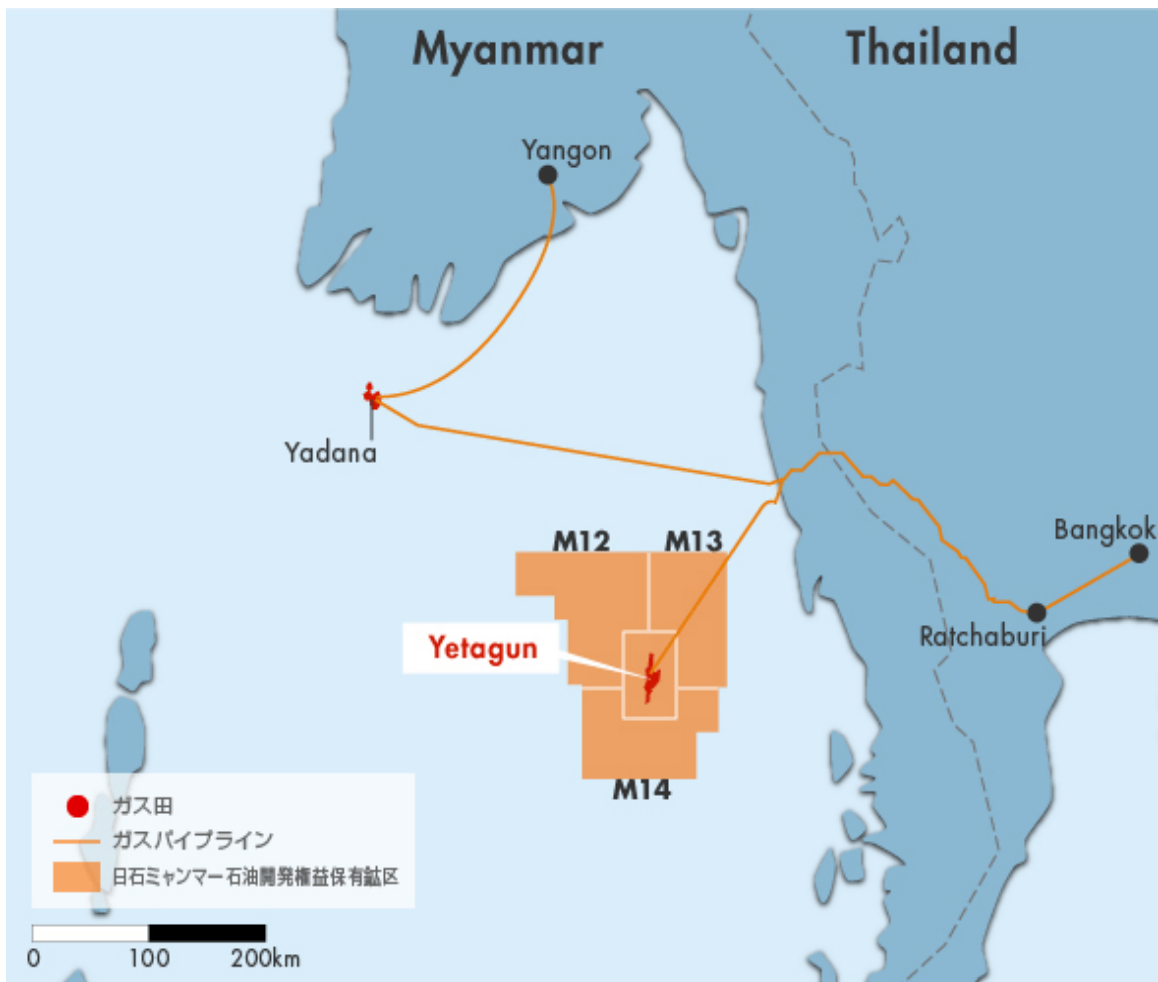
【権益比率】 46.5%

【オペレーター】
日本ベトナム石油(株)

- ・1992年 15-2鉱区権益取得。
- ・1994年にラドン油田を発見し1998年より生産開始。
- ・2006年に、ラドン油田随伴ガス回収・有効利用プロジェクトが、CDMとして承認された。
- ・2007年11月ペトロベトナムとベトナム南部海上16-2鉱区に関する生産分与契約を締結

<個別プロジェクトの概要>

ミャンマー



【08年1-12月生産数量】 8,500boed
(油 800b/d、ガス 46mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日石ミャンマー石油開発(株)(50%)

【権益比率】 19.3%

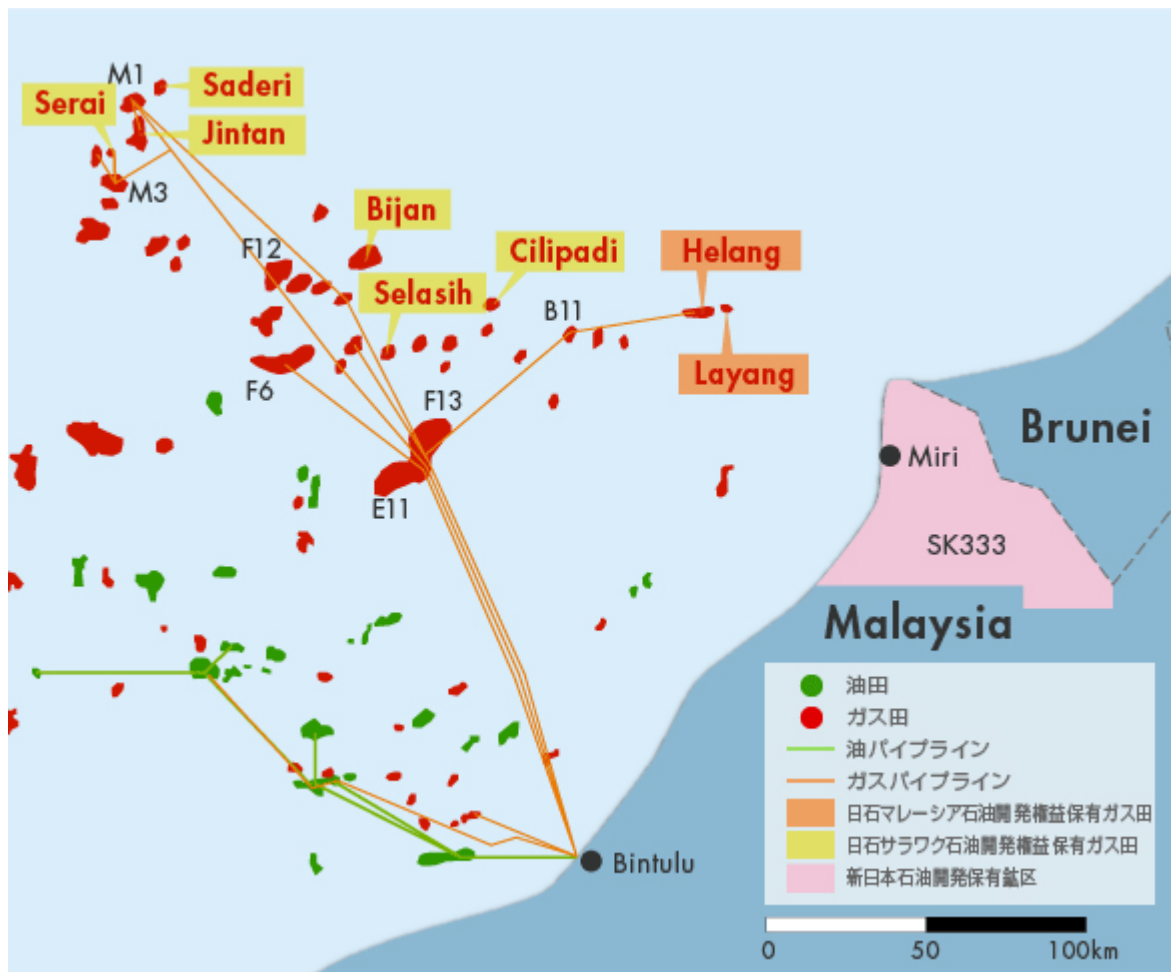
【オペレーター】 ペトロナス・チャリガリ

・1991年 ミャンマー海上M-13/14鉱区権益を取得。
翌年M-13/1鉱区権益を取得、同年¹ Yetagun・ガス田を発見。

・2000年 タイのラチャブリ発電所向けに天然ガスの生産を開始。

<個別プロジェクトの概要>

マレーシア



【08年1-12月生産数量】 23,000boed
(油 3,600b/d、ガス 116mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日石マレーシア石油開発(株)(78.7%)

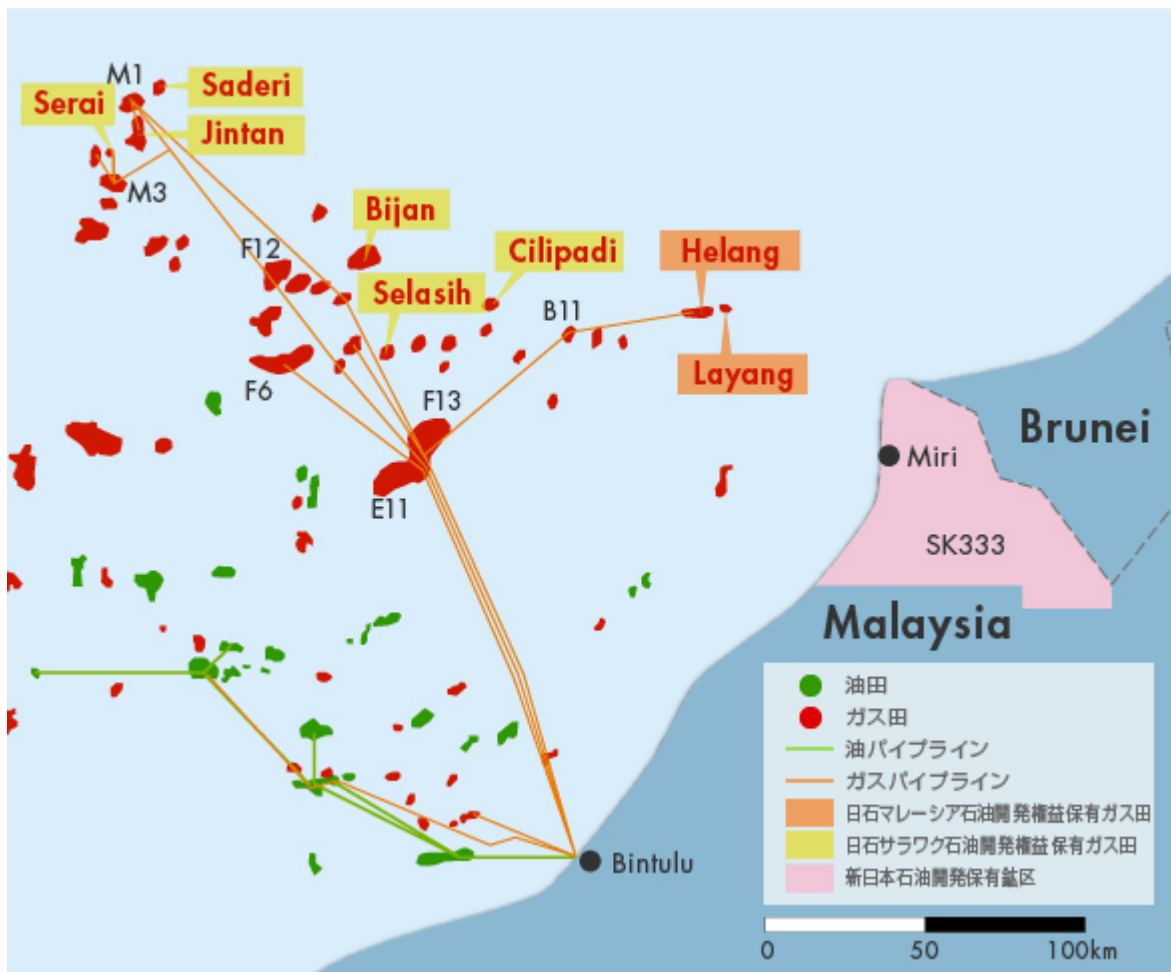
【権益比率】 75%

【オペレーター】
日石マレーシア石油開発(株)

- ・1987年 サラワク州沖SK-10鉱区の権益を取得。
- ・1990年にヘラン・ガス田を発見し、2003年より生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

サラワク



【08年1-12月生産数量】 35,500boed
(油 3,500b/d、ガス 192mmcf/d)

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日石サラワク石油開発(株)(76.5%)

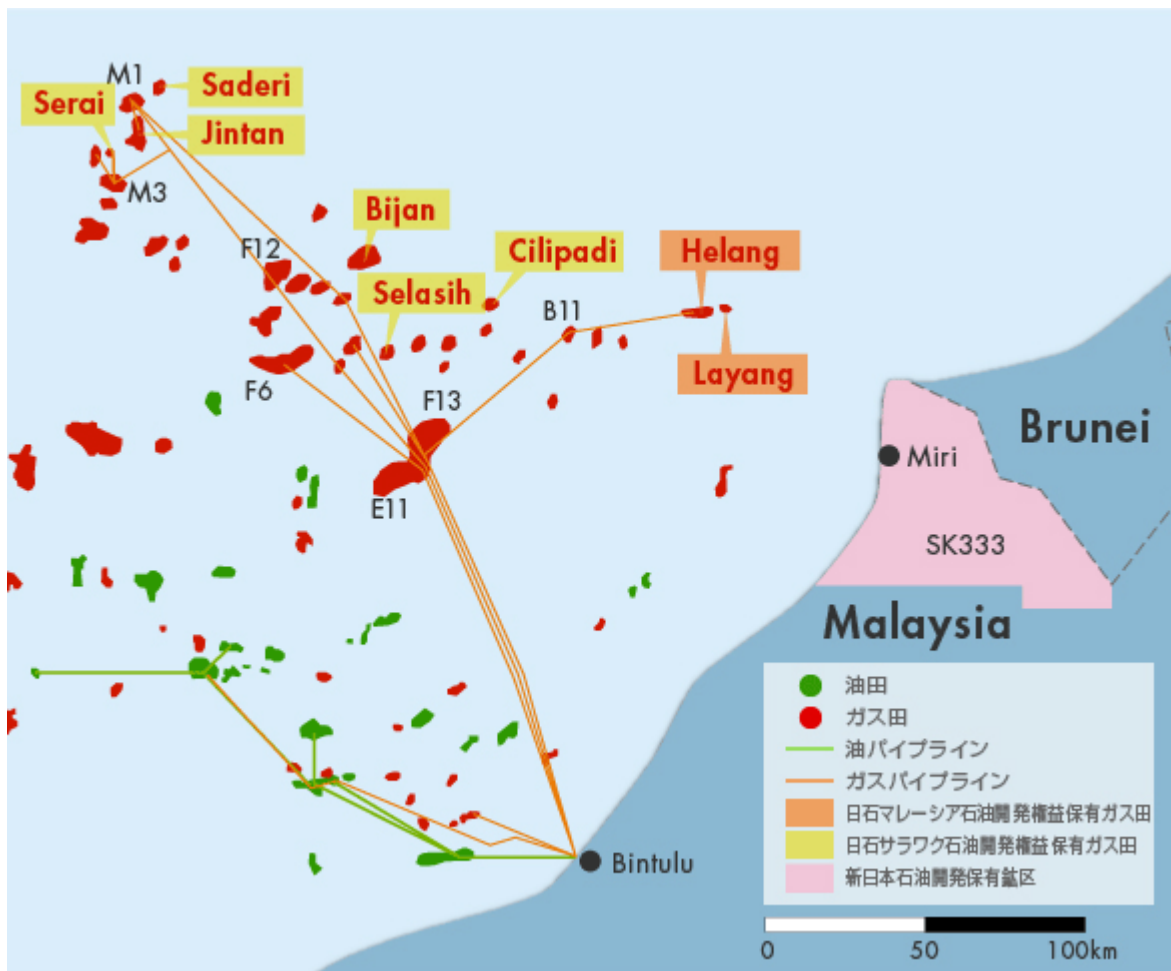
【権益比率】 37.5%

【オペレーター】 シェル

- ・1991年 SK-8鉱区権益を取得。
- ・1992年から1994年にかけて、ジントアン・ガス田、セライ・ガス田を発見し、2004年より生産開始。
- ・2007年 ラヤン・ガス田を発見。

<個別プロジェクトの概要>

サラワク陸上



【08年1-12月生産数量】

—

【プロジェクト会社】

新日本石油開発(株)

【権益比率】 75%

【オペレーター】 新日本石油開発(株)

・2007年12月にマレーシア・サラワク州陸上のSK333鉱区を取得。マレーシア国营石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結。

<個別プロジェクトの概要>

マレー半島沖海上



【08年1-12月生産数量】 -

【プロジェクト会社】

新日石開発・半島マレーシア株式会社

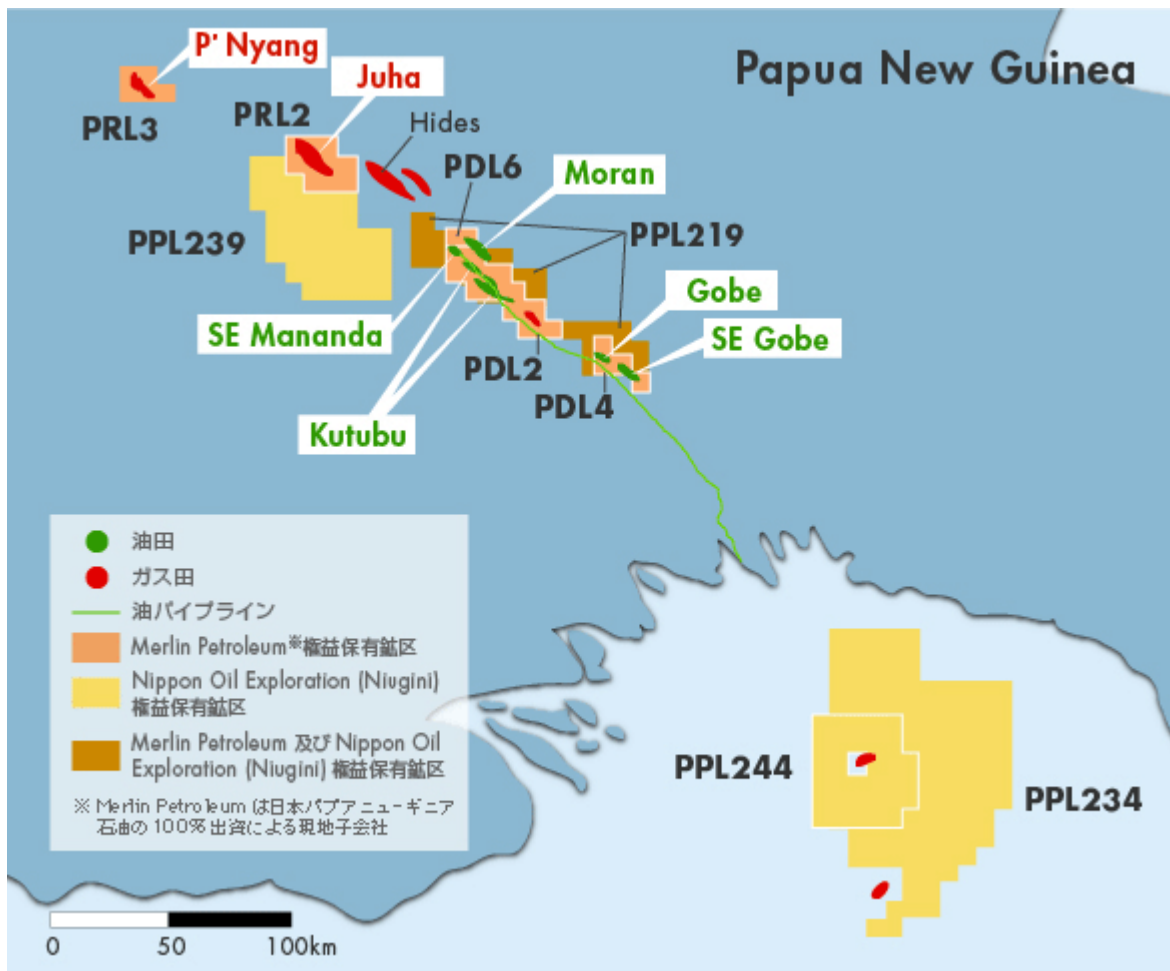
【権益比率】 20%

【オペレーター】 Lundin Malaysia B.V.

・2008年4月にマレーシア・マレー半島沖海上のPM308A鉱区を取得。マレーシア国営石油会社ペトロナスと生産分与契約を締結。

<個別プロジェクトの概要>

パプアニューギニア



【08年1-12月生産数量】 2,200b/d

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
 日本パプアニューギニア石油(株) (36.4%)
 Nippon Oil Exploration (Niugini) Pty. Ltd. (100%)

【権益比率】 8.3-73.5%

【オペレーター】 オイルサーチ、エクソンモービル、
 マーリン

・1990年 マーリン社保有のパプアニューギニア探鉱区
 の権益を取得、その後クツブ、モラン、ゴベ、SEゴベ、
 SEマナダ油田において開発/生産事業を推進。

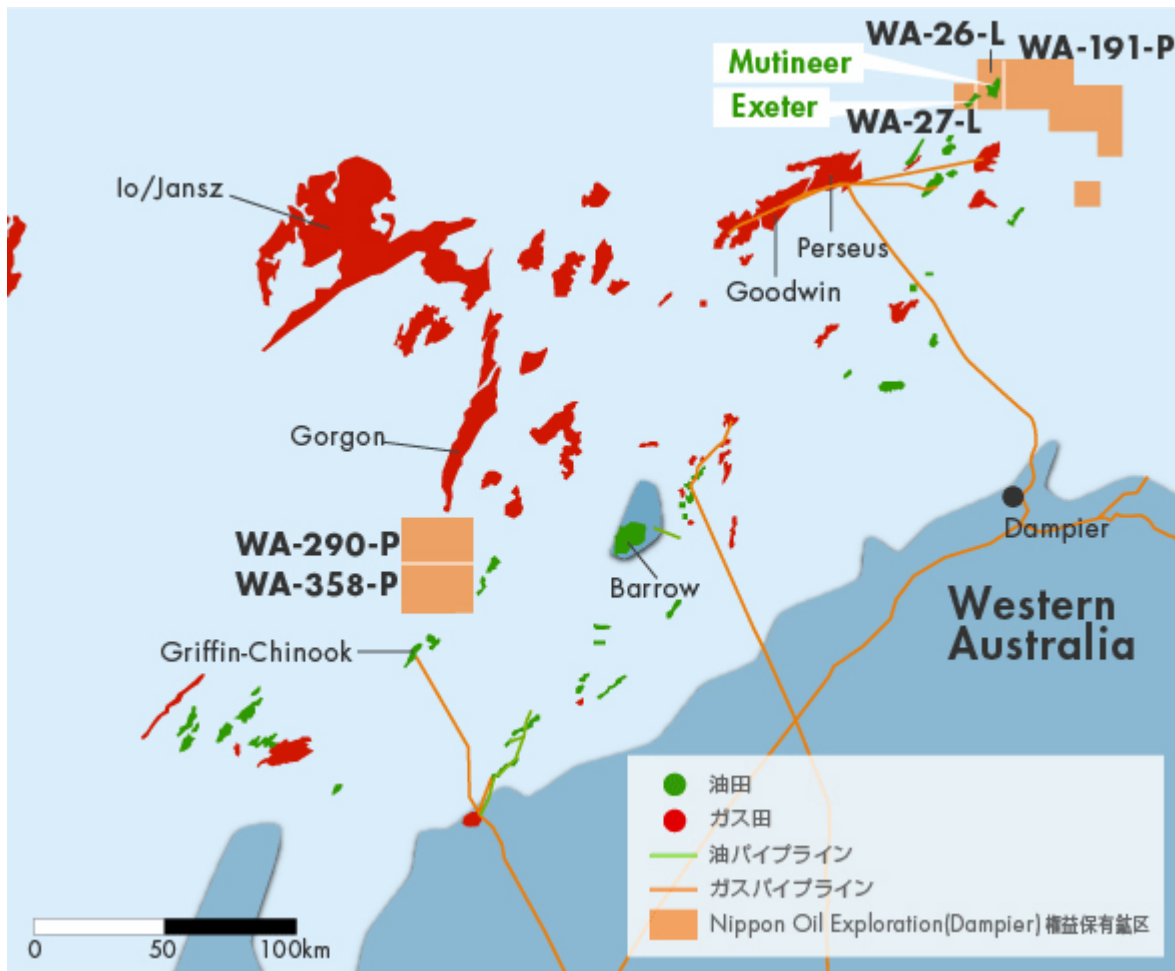
・2008年3月、LNGプロジェクトに参加する企業間
 で、LNGプロジェクト事業化の可否についての検討
 等に関する共同事業契約を締結。

・2008年12月、AGL社よりLNGプロジェクト権益およ
 び油田権益を取得。

・2009年1月、オイルサーチ社より陸上・海上計4探鉱
 区を新規取得。

<個別プロジェクトの概要>

オーストラリア①



【08年1-12月生産数量】 2,600b/d

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty. Ltd. (100%)

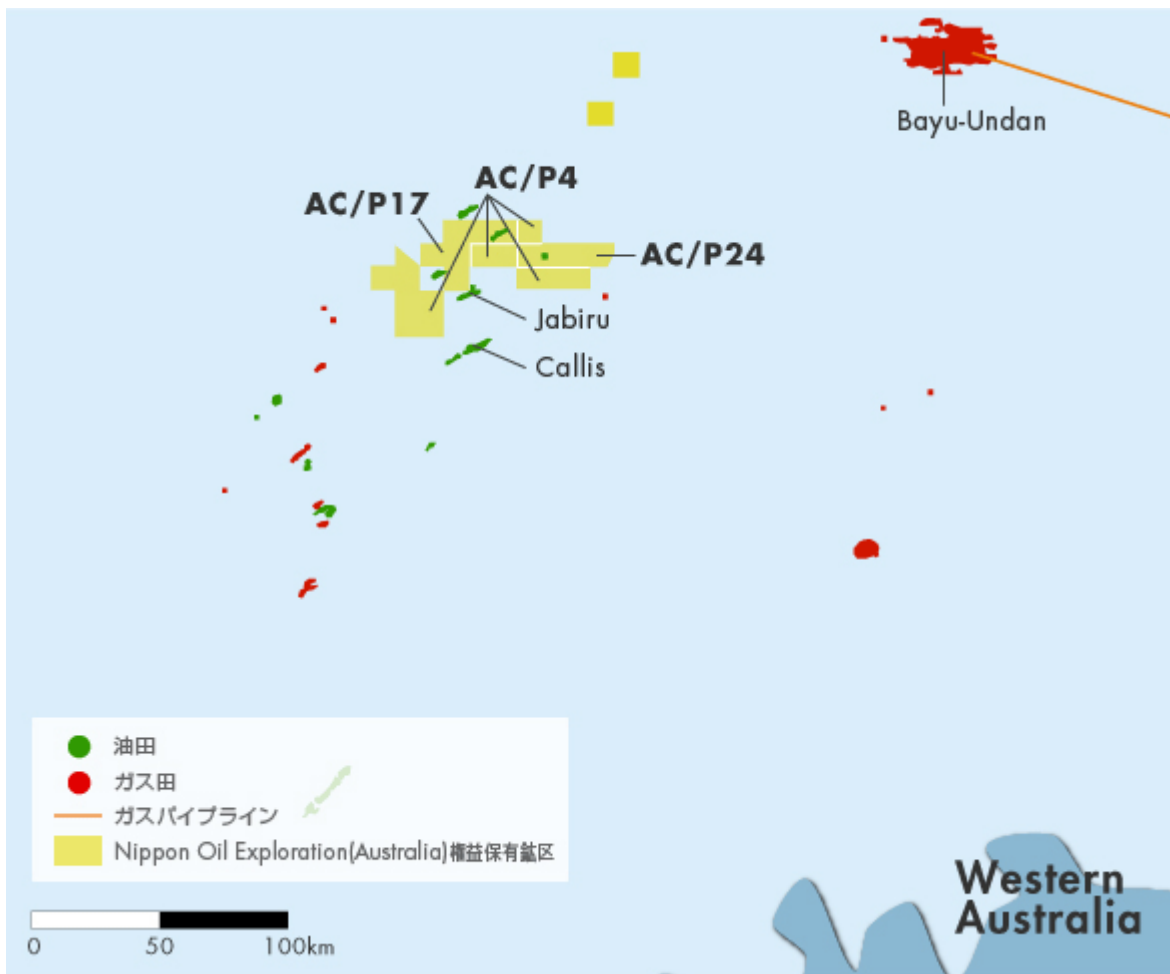
【権益比率】 25%

【オペレーター】 サントス

1997年 WA-191-P 鉱区の権益25%を取得。その後、ムティニア油田、エクセター油田を発見し、2005年より生産開始。

<個別プロジェクトの概要>

オーストラリア②



【08年1-12月生産数量】-

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率
Nippon Oil Exploration (Australia)Pty. Ltd. (100%)

【権益比率】 30%

【オペレーター】 OMV

2004年 AC/P24鉱区の権益30%を取得、2005年にはAC/P4、AC/P17、AC/RL4、AC/RL5の権益をそれぞれ30%取得。

<個別プロジェクトの概要>

カナダ



【08年1-12月生産数量】 14,500b/d

【プロジェクト会社】 ()内 当社グループの出資比率
日本カナダ石油(株)(100%)

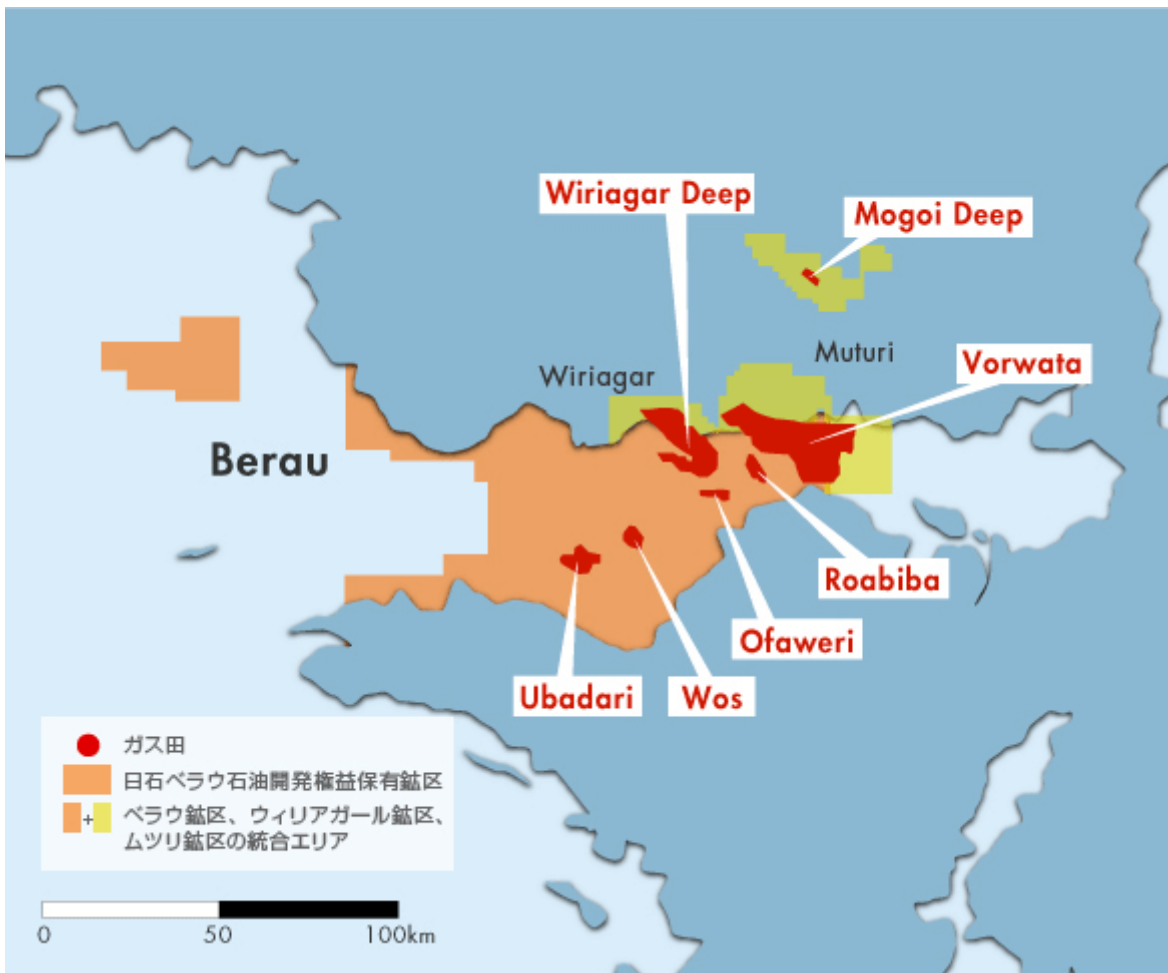
【権益比率】 5%

【オペレーター】 シンクルード・カナダ

・1992年ペトロカナダ社保有のシンクルード・プロジェクトの権益5%を取得。
その後、現地子会社Mocal Energy Ltd(新日本石油開発の100%出資)に権益を譲渡し、生産事業を推進中。

<個別プロジェクトの概要>

インドネシア



【08年1-12月生産数量】 -

【プロジェクト会社】()内 当社グループの出資比率

日石ベラウ石油開発(株)(51%)

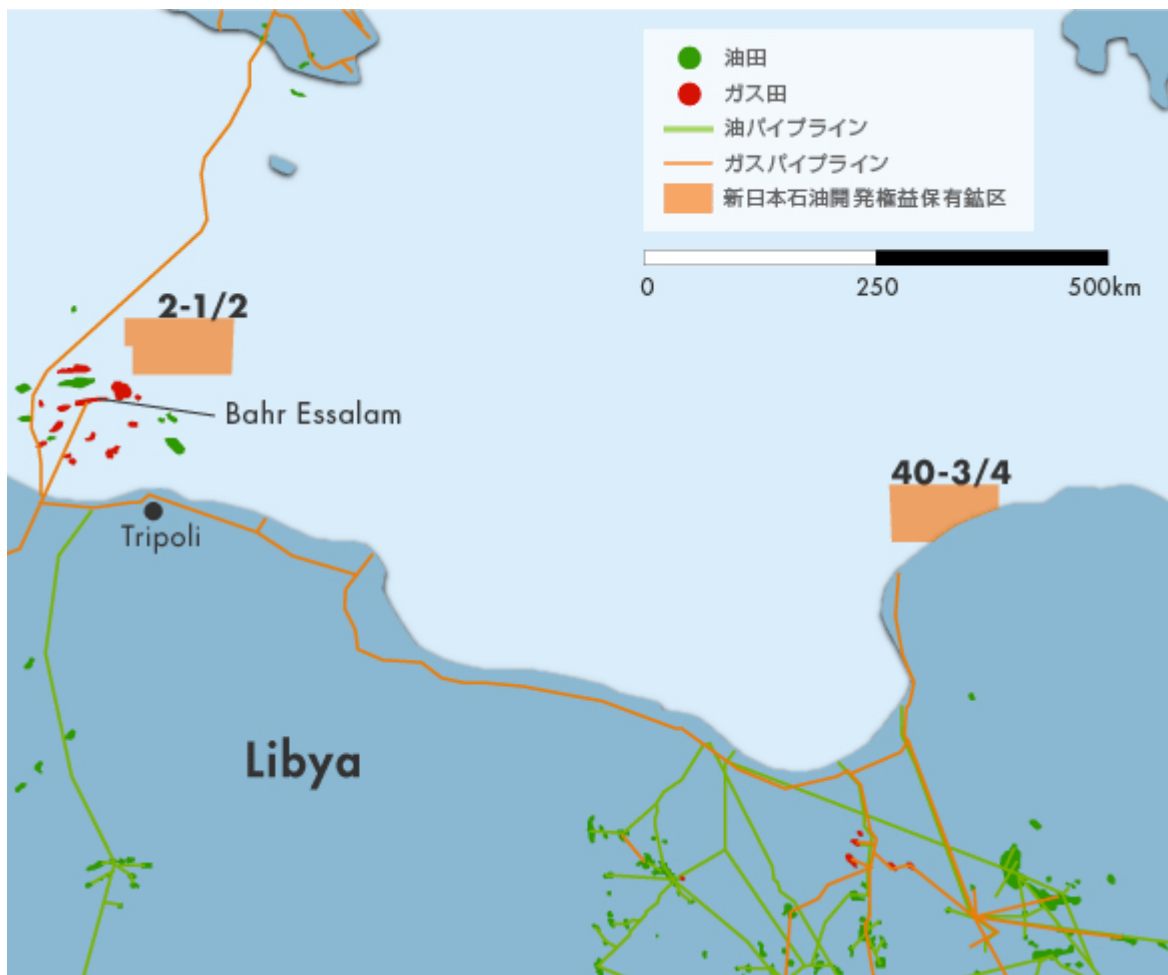
【権益比率】 12.2%(ユニタイズ後)

【オペレーター】 BP

- ・1990年より試掘3坑を掘削し、天然ガスを発見。その後フォルワタ構造、ウィリアガールディープ構造等において天然ガスを発見。
- ・2003年よりベラウ、ウィリアガールおよびムツリの3鉱区のパートナー間で鉱区をユニタイズし、共同開発作業を推進中。
- ・2009年上期 生産開始予定。

<個別プロジェクトの概要>

リビア



【08年1-12月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日本石油開発(株)

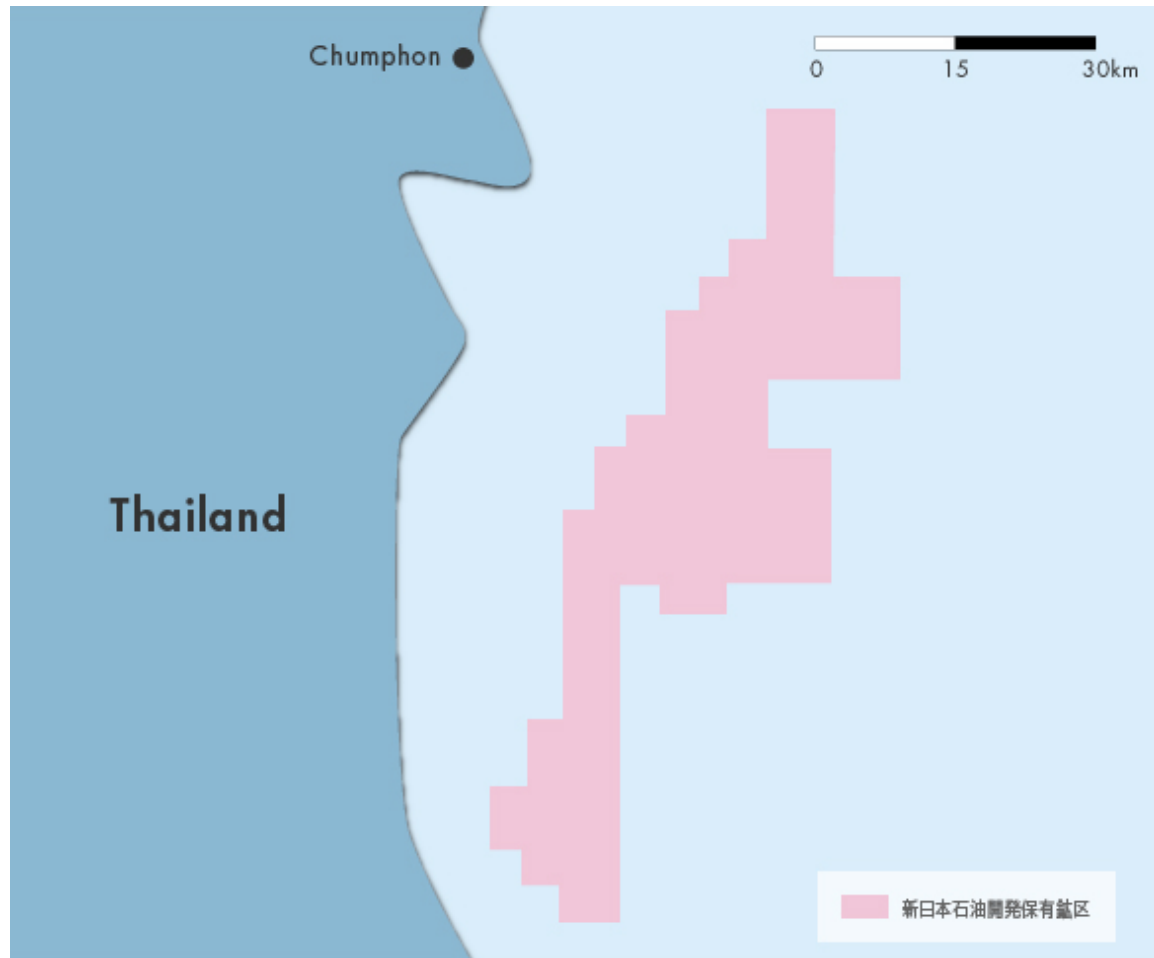
【権益比率】 90%(2-1/2鉱区)
38%(40-3/4鉱区)

【オペレーター】
新日本石油開発(株) (2-1/2鉱区)
(株)ジャペックスリビア (40-3/4鉱区)

・2005年10月公開入札にて地中海沿岸部(海上)の2鉱区(2-1/2、40-3/4)を落札。
今後、探鉱作業を開始。

<個別プロジェクトの概要>

タイ



【08年1-12月生産数量】 -

【プロジェクト会社】
新日本石油開発(株)

【権益比率】 40%

【オペレーター】 PTTEP

・2007年12月タイ・シャム湾 B6/27鉱区に関する権益譲渡契約を締結。
今後、探鉱作業を開始。

<見通しに関する注意事項>

本資料に記載されている当社の業績見通し、経営目標等のうち、歴史的事実でないものにつきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営陣が判断したものであります。

実際の業績等につきましては、さまざまな要素により、これらの業績見通し等と大きく異なる結果になりうることをご承知置き下さい。従いまして、業績見通し等に全面的に依拠して投資判断を下すことは、控えていただきますようお願いいたします。

なお、実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、原油価格、石油・石油化学製品の需要動向および市況、為替レートならびに金利の動向が含まれますが、これらに限定されるものではありません。